

平成30年度

湖西市教育委員会

自己点検・評価報告書

令和元年12月

湖西市教育委員会

目 次

はじめに	1
I 平成30年度 湖西市教育委員会 基本姿勢と事業の展開	2
教育委員会組織	3
各課の仕事の概要	4
決算の概要	5
II 平成30年度 湖西市教育委員会の活動等における 点検・評価の概要	6
1 教育委員会の活動	6
2 教育委員会の審議案件	6
3 事業の概要	7
4 事務事業評価の概要	8
III 外部評価委員の意見	34
IV 総合評価	38

はじめに

本市教育委員会においては、平成25年度に静岡県の「教育振興基本計画」を参考に、国の「教育基本法」、湖西市の「新・湖西市総合計画」に基づいて「湖西市教育振興基本計画（2013年～2020年）」を策定した。

この計画は、これまで教育委員会各課が、改善を重ねながら毎年継続してきた事業を整理、明文化したもので、『明日の湖西を創る“ひと”づくり』を基本理念とし、その理念に基づいた教育委員会各課の基本目標と方針を明記し、諸事業の具現化を図り、学校教育及び生涯学習の充実をはじめ、教育環境の整備を推進する指標である。

平成30年度においては、本計画に基づき、教育委員会各課において諸事業に取り組み、その取組状況については、実績等の概要を取りまとめ、「事務事業評価」、「主要施策成果の説明書」として報告している。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められている。

そのため、本市教育委員会の平成30年度の活動及び施策に関する自己点検及び評価を実施し、報告書としてまとめる。

《参考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成30年度 湖西市教育委員会 基本姿勢と事業の展開

【 教育次長 鈴木 徹 】

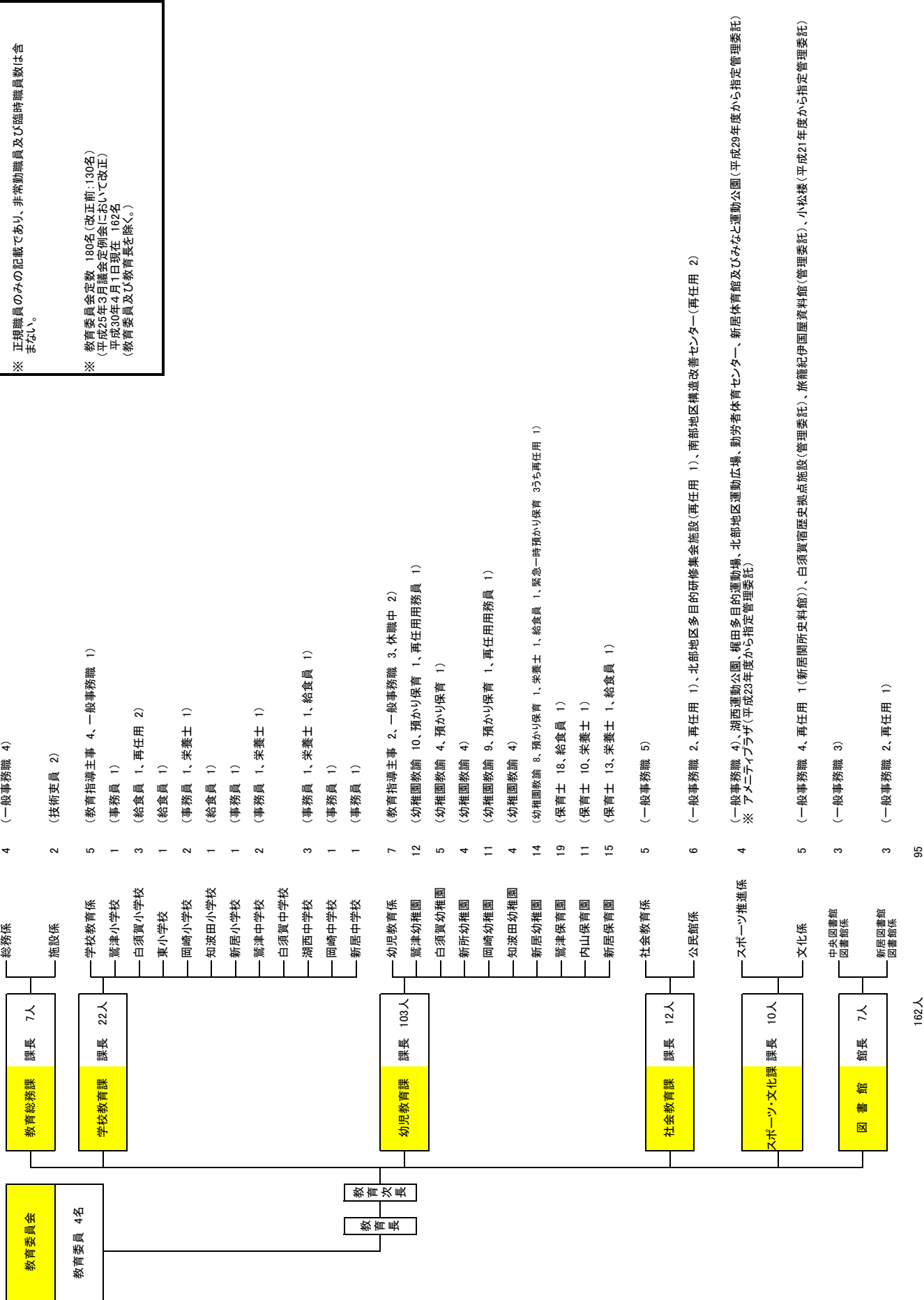
【 基本理念 】	
●明日の湖西を創る“ひと”づくりに取り組む	
・やさしく、たくましく、こころざしある“ひと”を育てたい	
・知りたい、学びたい、活動したい、運動したいという欲求に応えたい	
・ひとが信頼し合い、認め合う環境を保ち続けたい	
・ひとがやさしく触れ合うまちを保ち続けたい	
・安全で安心、心地よい環境づくりを推し進めたい	
・地域の子どもを地域で守り育てたい	

【 目 標 】	
○ 教 育 総 務 課 …… 子どもの“学ぶ”環境をよりよいものにします	
○ 学 校 教 育 課 …… 小学校から中学校までの、“ひと”としての基礎づくりを支えます	
○ 幼 児 教 育 課 …… 小学校就学前の幼児の健やかな成長を後押しします	
○ 社 会 教 育 課 …… 市民の皆さんの生きがいとなる、知りたい、学びたい、活動したいという欲求に応えます	
○ スポーツ・文化 課 …… 市民の皆さんの健康増進をお手伝いし、運動したい、まちの歴史や文化を知りたいという欲求に応えます	
○ 図 書 館 …… 市民の皆さんの学ぶ気持ちを後押しし、知りたい、学びたいという欲求に応えます	

所 属 名	方 針	重 点 事 業 等
教 育 総 務 課	教育委員会に関する情報を積極的に公開するよう努めます	☆ ウェブサイト等を利用し、会議録や活動内容の積極的な情報公開に努めます
	安全で安心な教育環境の整備に努めます	☆ 新居中学校の外壁塗装改修及び岡崎幼稚園の園舎耐震補強設計等を行い、安全な教育環境に努めます
	事業の効果的で効率的な執行に努めます	☆ 事業の適正な執行と管理を推進し、常に効果的で効率的な執行に努めます
	魅力ある学校づくりの基盤として、教職員の資質向上に取り組めます	☆ 指導技術の向上を目指した教職員の研修の充実を図ります
学 校 教 育 課	子どもたちの学習の基盤整備に努めます	☆ 「学びの基礎7つの取り組み」を推進します
	夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組めます	☆ 確かな学力の定着のための指導方法の工夫・改善を行います
	授業や行事を通して自立する心と創造する力を育みます	☆ 自立する心と創造する力を育む授業や行事の工夫に努めます
	心の教育の充実を図ります	☆ 「心の教育」を重視し、道徳教育の一層の充実に努めます
幼 児 教 育 課	一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備に努めます	☆ 特別支援教育、外国児童生徒の支援体制の整備に努めます
	社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します	☆ キャリア教育、国際理解教育、安全教育(防災・防犯・交通安全)を推進します
	地域とともに歩む学校づくりを推進します	☆ 「開かれた学校」の推進に努めます
	基本的な生活習慣の定着を通して、自立する心を育みます	☆ 「幼児期に育てたい力」を活用し、基本的な生活習慣の定着に努めます
社 会 教 育 課	夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組めます	☆ 子どもが主体的に遊びに取り組める環境や保育・行事の工夫・改善に努めます
	一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます	☆ 一時預かり事業(幼稚園型)の充実に努めます
	保育環境の整備に努めます	☆ 読み聞かせと家庭読書の推進に努めます
	魅力ある園づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組めます	☆ 指導技術の向上をめざし、職員研修の充実を図ります
スポーツ・文化 課	家庭教育支援に努めます	☆ 家庭教育サポート事業を実施し、家庭の教育力の向上を図ります
	地域における教育力向上のため、学校、家庭、地域等との連携を図ります	☆ 学校支援地域本部事業の成果を踏まえ、体制の確立に努めます
	青少年健全育成意識の醸成に努めます	☆ 青少年育成事業を整理し、より効果的な事業の実現を図ります
	さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境の整備に努めます	☆ 人材登録リスト「達人録」を整備するとともに、市民が率先して学べる機会を提供します
図 書 館	市民が集い、結びあう公民館活動の普及に努めます	☆ 利用者の活動成果の発表の場としてのまつりを実施します
	安全で安心な施設の管理運営に努めます	☆ 市民が安全で安心して利用できる施設管理に努めます
	スポーツの普及推進及び育成を図ります	☆ スポーツ教室や大会を開催し、生涯スポーツを推進します
	社会体育施設の維持管理及び運営に努めます	☆ 市内社会体育施設を安全、快適に利用できるよう指定管理者と連絡調整を密にします
図 書 館	一人でも手軽にできるウォーキングや体操等の環境づくりに努めます	☆ 学校施設を開放し、市民の健康維持を支援します
	歴史の保存と継承に努めます	☆ 国特別史跡「新居関跡」の整備を推進するとともに、市内に伝わる文化財の保護保存と活用を図ります
	文化、芸術の振興と支援に努めます	☆ 市内の芸術文化団体を支援するとともに、市民に芸術文化活動に親しむ機会を提供します
	安全で安心な施設の管理運営に努めます	☆ 市民が安全で安心して利用できる施設管理に努めます
図 書 館	情報拠点としての図書館運営の充実を図ります	☆ 図書館等の資料収集に努め、貸出、レファレンス等を充実します
	図書館活動の推進に努めます	☆ ブックススタート事業やおはなし会の開催により、幼児期より図書に親しんでもらいます
	安全で快適な施設環境を整えるよう、施設の維持管理に努めます	☆ 快適な施設環境を整えるため、新居図書館の開架室及びトイレ照明のLED化を実施します

教 育 委 員 会 組 織 (平 成 30 年 度)

(平成30年4月1日現在)



平成 30 年度 各課の仕事の概要

部	課 名	係 名	仕 事 の 概 要
教 育 委 員 会 事 務 局	教 育 総 務 課	総 務 係	公印の管守。教育委員会の招集、提出議案調整、議決事件処理。規則、規程などの公布。職員の人事、服務、給与、福利厚生。教材、教具の整備。学校給食。豊田佐吉翁記念奨学金事業。育英奨学資金貸付事業。学校等の施設の保守管理。総合教育会議。
		施 設 係	学校等の財産の取得、処分。学校等の施設の整備、修繕、建設。施設整備に係る調査。学校等の施設の保守管理。
	学 校 教 育 課	学 校 教 育 係	通学区。学籍。学級編制。教科書無償給与。学校経営の指導。教職員の服務・研修。教育課程。学校保健及び安全。就学指導。特別支援教育。教育相談。生徒指導。転入学。
	幼 児 教 育 課	幼 児 教 育 係	こども・子育て支援新制度に関すること。幼稚園、保育園に関する事務（公私立保育園・公立幼稚園入退園含む）。園経営の指導。教職員の服務・研修。保育・教育課程。
	社 会 教 育 課	社 会 教 育 係	社会教育の企画。幼児・青少年・家庭・成人・高齢者教育の振興。地域社会教育の振興。青少年リーダーの育成。成人式。生涯学習の推進。青少年育成センターの運営。
		公 民 館 係	西部公民館、北部・南部構造改善施設の維持管理。講座の開催。公民館まつりの開催。図書室業務。
	ス ポ ー ツ ・ 文 化 課	ス ポ ー ツ 推 進 係	社会体育の企画推進。社会体育施設・学校体育施設開放の維持管理、運営。アメニティプラザ・湖西運動公園ほか 5 施設の監督管理。
		文 化 係	芸術文化の振興。白須賀宿歴史拠点施設の運営・維持管理。文化財保護。新居関所史料館の運営・維持管理。新居宿旅籠紀伊国屋資料館の運営・維持管理。新居関所跡の保存・整備。小松楼まちづくり交流館の運営・維持管理。
	図 書 館	中 央 図 書 館 図 書 館 係	図書館の維持管理。図書館業務。
		新 居 図 書 館 図 書 館 係	図書館の維持管理。図書館業務。

財政状況から見る湖西市 平成30年度決算

皆さんが納めた税金がどのように使われたのか、平成30年度の決算の状況をお知らせします。湖西市の現状と将来の見通しから今後の取り組みまでお伝えします。

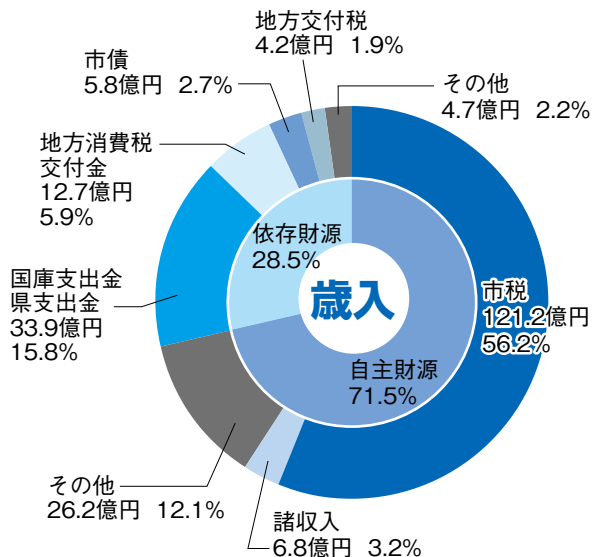
問合せ先 財政課 ☎576-1112 FAX576-1115

平成30年度決算概要

■一般会計

歳入歳出ともに昨年度から減少。本年度の特徴として、市債（市の借金）発行額の抑制や普通交付税の合併算定替えによる段階的な縮減の影響などにより歳入が減少しましたが、「歳入に見合った歳出構造」や「選択と集中」の考えのもと、新所原駅周辺まちづくり事業や大倉戸茶屋松線整備事業、津波避難施設整備事業などを着実に推進するとともに、「職住近接」をキーワードにした子育て支援事業や人口減少対策事業を推進しました。

■歳入決算額 215.5億円(前年比1.1%減)



歳入の使い道(一部)

■市税のうち都市計画税3.9億円

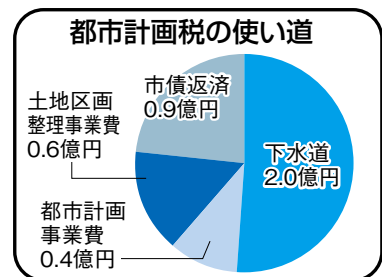
都市計画区域内の事業に使われています。

■地方消費税交付金のうち社会保障財源分4.9億円

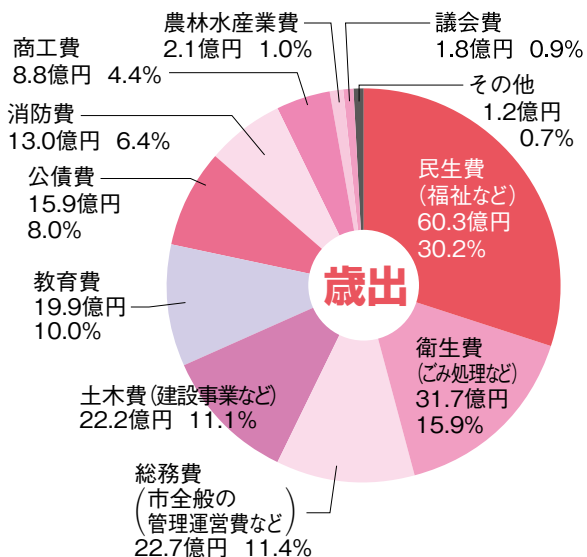
8%への引き上げに伴い子育てなど少子化対策や医療・介護事業など社会保障費に使われています。

■諸収入のうち競艇事業収入4.2億円

学校施設・社会体育施設修繕、土地地区画整理、道路整備などに使われています。



■歳出決算額 199.6億円(前年比1.9%減)



■各会計決算総括表(単位：億円)

区分 会計			歳入		歳出	差し引き (A－B)
			金額(A)	うち一般会計 からの繰入金	金額(B)	
一般会計			215.5		199.6	15.9
特別会計	国民健康保険事業		60.7	3.2	56.7	4.0
	介護保険事業		40.3	5.4	38.2	2.1
	後期高齢者医療事業		6.7	1.3	6.7	0.0
企業会計	公共下水道事業	収益的収支	13.5	7.6	13.3	0.2
		資本的収支	4.9		8.4	▲3.5
	水道事業	収益的収支	12.4	－	10.4	2.0
		資本的収支	0.2		3.8	▲3.6
	病院事業	収益的収支	34.3	11.2	33.2	1.1
		資本的収支	2.6		4.3	▲1.7
合 計			391.1	28.7	374.6	16.5

Ⅱ 平成30年度 湖西市教育委員会の活動等における点検・評価の概要

1 教育委員会の活動

本市教育委員会を年12回開催し、規則等の制定及び改廃、予算その他の議会の議決に付すべき事件案に関する意見聴取、付属機関の委員の委任又は任命に関する事等について慎重に審議した。

また、臨時会を1回開催し、職員の人事異動等について審議した。

教育委員研修については、定例会開催ごとに委員協議会を開催し、情報の提供と意見交換に努めるとともに、教育委員会を学校等の教育施設を会場に開催し、合わせて市内教育現場の視察を実施するなど、本市教育行政の実情把握と認識を深めた。

また、三遠南信教育サミットを本市で開催したほか、静岡県市町教育委員研修会等へ参加し、見聞を広めた。

総合教育会議は、平成27年4月1日施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会が協議・調整する場として総合教育会議を設けると定められた。本年度の総合教育会議では、市民会議がまとめた湖西市（新）市民会館等複合施設建設検討結果について概要説明を受けた。市民交流施設という位置づけで候補地にあがっている鷺津幼小中エリアは、学校等教育施設が集積しているため、現状と課題、今後の方向性について市長と意見交換した。

2 教育委員会の審議案件

教育委員会が管理・執行する事務は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条に規定されている次に示す19項目の事務である。

- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関する事。
- (2) 学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関する事。
- (3) 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関する事。
- (5) 学校の組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関する事。

- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関する事。
- (7) 校舎その他の施設及び教員その他の設備の整備に関する事。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関する事。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関する事。
- (10) 学校その他の教育機関の環境衛生に関する事。
- (11) 学校給食に関する事。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関する事。
- (13) スポーツに関する事。
- (14) 文化財の保護に関する事。
- (15) ユネスコ活動に関する事。
- (16) 教育に関する法人に関する事。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関する事。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関する事。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関する事。

上記に基づき、規則等の制定及び改廃に関する事23件、予算その他議会の議決に関する事6件、職員（教職員）の人事に関する事3件、付属機関等の委員を任命または委嘱する事31件、その他自己点検・評価報告書の作成及び議会提出に関する事など2件、合わせて65件の議案について慎重に審議し、すべての案件について決定及び承認した。

3 事業の概要

平成30年度は、湖西市教育振興基本計画に掲げる教育委員会の基本理念である「明日の湖西を創る“ひと”づくり」に基づき、各課において定めた基本目標と方針により、事業展開を行った。

各項目ごとの主な事業は次のとおりである。

資料編P.1からP.3 児童福祉費については、公立保育園の管理、運営や民間保育所への運営費の支出及び事業等への助成を行った。

P.4からP.12 教育総務費については、教育委員会の運営、臨時・非常勤職員の雇用、教育指導関係事業等を行った。

P.13からP.22 小学校費・中学校費・幼稚園費については、教育環境の整備として、岡崎幼稚園、新居幼稚園のこども園化事業が本格的に始まったほか、新居中学校南校舎屋上外壁改修など工事、各施設の維持・管理、修繕を行った。

P.23からP.33 社会教育費については、社会教育諸事業の推進に際し、関係諸団体はじめ、多くの市民の協力や参加をいただき、社会教育の推進及び青少年健全育成活動の促進、文化財の保護・保存・整備や公民館活動の充実等に努めた。

P.34からP.36 図書館費については、図書館活動にかかる各種の事業や施設の修繕を実施し、図書館機能の充実を図った。

P.36からP.41 保健体育費については、体育施設の維持管理及びスポーツ教室の開催等により、市民スポーツ団体の育成や市民スポーツ活動の推進に努めた。

4 事務事業評価の概要

教育委員会の各課、館の主要事業について、事業ごとに評価の概要をまとめた。

湖西市教育振興基本計画の目標・方針

担当課	目 標	方 針
教育総務課	◎教育施策の円滑な運営 ◎園児・児童・生徒が安全で安心できる施設整備の充実	1 教育委員会に関する積極的な情報公開に努めます 2 安全で安心な教育環境の整備を図ります 3 事業を効果的・効率的に執行します
学校教育課	◎自立と創造・共生を育む学校教育の充実	1 魅力ある学校づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます 2 学習の基盤整備に取り組みます 3 夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます 4 授業や行事を通して自立する心と創造する力を育みます 5 心の教育の充実を図ります 6 一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備に努めます 7 社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します 8 地域とともに歩む学校づくりを推進します
幼児教育課	◎豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	1 基本的生活習慣を通して、自立する心を育みます 2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます 3 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます 4 保育環境の整備に努めます 5 魅力ある園づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます
社会教育課	◎子どもを健やかに育てる社会教育の充実	1 家庭教育支援に努めます 2 地域における教育力向上のため学校、家庭、地域等の連携を図ります 3 青少年健全育成意識の醸成に努めます 4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します 5 市民が集い、結びあう公民館活動に努めます 6 安全で安心な施設の管理運営に努めます
文化課	◎まちの歴史の保護、保存、整備に力を入れる文化活動 ◎文化芸術に親しむ機会の提供と支援を行う活動 ◎生活の中で歴史に触れる活動	1 歴史の保存と継承に努めます 2 文化、芸術の振興と支援に努めます 3 安全で安心な施設の管理運営に努めます
スポーツ推進課	◎誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります 2 社会体育施設の維持管理及び運営に努めます 3 新居体育館整備事業を推進します
図書館	◎学習活動環境の充実	1 情報拠点としての図書館運営の充実に努めます 2 図書館活動の推進に努めます 3 安全で快適な施設環境を整えるよう施設の維持管理に努めます

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、湖西市では本シートを用いて平成30年度の活動及び施策の自己点検及び評価を行う。	マトリックスの見方		↑	A			★
	実現度	重要度	実現度	B			☆
	A…目標達成	A…非常に重要		C			
	B…概ね目標達成	B…重要	★30年度	C	B	A	
	C…目標達成できない	C…やや低い	★29年度	重要度→			

各事業の目標・方針は教育振興基本計画に基づく

[教育総務課 事業評価の概要]

事業名		公立保育所施設管理運営費		資料編	3頁																				
目 標	園児・児童・生徒が安全で安心して生活できる施設整備の充実		方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります																					
概 要	保育園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設管理を行う。																								
30年度 目 標	保育園内の修繕件数20件																								
30年度 実 績 等	◇3園の廃棄物処理を行い、施設の設備保守点検等・廃棄物の収集運搬を委託した。 ◇3園で10件の修繕を行った。																								
29年度 実 績 等	◇3園の廃棄物処理を行い、施設の設備保守点検等・廃棄物の収集運搬を委託した。 ◇3園で15件の修繕を行った。																								
課題及び 今後の 取り組み	財政上の問題もあり、修繕など各園の要望には充分な対応ができていない。 計画的な施設修繕を図るため、予算の確保に努める。			評 価	<table><tr><td>↑ 実 現 度</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td><td>☆</td></tr><tr><td colspan="5">重要度→ ☆H30 ★H29</td></tr></table>	↑ 実 現 度	A					B			★		C	B	A	☆	重要度→ ☆H30 ★H29				
↑ 実 現 度	A																								
	B			★																					
	C	B	A	☆																					
重要度→ ☆H30 ★H29																									
事業名		教育委員会関係経費		資料編	4頁																				
目 標	教育施策の円滑な運営		方 針	1 教育委員会に関する積極的な情報公開に努めます 3 事業を効果的・効率的に執行します																					
概 要	学校及び、その他の教育機関の職員の身分取扱、その他地方公共団体における教育行政の組織及び運営を定める会議を定例・臨時に開催する。																								
30年度 目 標	教育委員会の開催回数12回																								
30年度 実 績 等	◇教育委員会の開催 定例会12回、臨時会1回 ◇教育委員研修会等への出席 市町教育委員研修会、三遠南信教育サミット（湖西市）「総合学習における豊田佐吉翁顕彰の取り組み」三遠南信地域の教育委員等 26市町村137名が参加。 ◇総合教育会議の開催 1回																								
29年度 実 績 等	◇教育委員会の開催 定例会回11回、臨時会回2回 ◇教育委員研修会等への出席 市町教育委員研修会、三遠南信教育サミット（豊川市） ◇総合教育会議の開催 2回																								
課題及び 今後の 取り組み	三遠南信教育サミットの開催市として、市の観光、地場製品のPRのほか佐吉の日めくりカレンダー等を販売するなど他部署と連携した取り組みを行った。 教育委員会の会議録や活動内容の積極的な情報公開を図り開かれた委員会を目指す。 総合教育会議は、市長と教育の課題などについて情報を共有し、継続的に意見交換を行って教育施策に反映させる。			評 価	<table><tr><td>↑ 実 現 度</td><td>A</td><td></td><td></td><td>★☆</td></tr><tr><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td><td></td></tr><tr><td colspan="5">重要度→ ☆H30 ★H29</td></tr></table>	↑ 実 現 度	A			★☆		B					C	B	A		重要度→ ☆H30 ★H29				
↑ 実 現 度	A			★☆																					
	B																								
	C	B	A																						
重要度→ ☆H30 ★H29																									

事業名		事務局関係経費			資料編	5頁								
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します											
概 要	教育行政の推進を図るため、教育長等の各種研修会や協議会への出席。市内各小学校・中学校の非常勤職員等を雇用し、教育行政の円滑な運営を図る。													
30年度 目 標	非常勤職員等の雇用人数32人													
30年度 実 績 等	◇非常勤職員等の雇用を34人、延べ35人行った。 ◇各種負担金の支出により、他組織等との連携・協議を図った。 ◇平成30年4月から鷺津中、新居中、岡崎小の給食調理業務を民間業者に委託した。													
29年度 実 績 等	◇非常勤職員等の雇用を50人、延べ61人行った。 ◇各種負担金の支出により、他組織等との連携・協議を図った。 ◇平成30年4月から鷺津中、新居中、岡崎小の給食調理業務の委託化に向け検討した。													
課題及び 今後の 取り組み	平成30年4月から岡崎小学校、鷺津中学校、新居中学校の学校給食調理委託の開始に伴い、給食員が減となった。 緊急を要する非常勤職員等の雇用確保が難しく、今後も給食調理業務の委託化の拡充を検討する。	評 価	↑ 実 現 度	<table><tr><td>A</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30★H29	A		★☆☆	B			C	B	A	
A		★☆☆												
B														
C	B	A												
事業名		豊田佐吉翁記念奨学金事業費			資料編	6頁								
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します											
概 要	優良な生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、豊田佐吉翁記念奨学基金の運用益等により、奨学援助を行い社会に有用な人材を育成する。													
30年度 目 標	奨学金の給付人数15人													
30年度 実 績 等	◇大学生10人、高校生3人に奨学金1,595千円を交付（大学生12,000円/月、高校生5,000円/月） ◇選考委員会の開催 2月14日 ◇豊田家に謝恩の意を伝える表敬訪問の実施（トヨタ自動車本社） 8月22日 12名参加													
29年度 実 績 等	◇大学生8人、高校生4人に奨学金1,392千円を交付（大学生12,000円/月、高校生5,000円/月） ◇選考委員会の開催 2月14日 ◇豊田家に謝恩の意を伝える表敬訪問の実施（トヨタ自動車本社） 8月9日 9名参加 ◇寄附金10,000千円を豊田佐吉翁記念奨学基金へ積立てした													
課題及び 今後の 取り組み	利率の低迷により運用益だけでの運営ができない状況である。 今後の奨学基金の運用について検討する。	評 価	↑ 実 現 度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>☆☆★</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30★H29	A			B		☆☆★	C	B	A	
A														
B		☆☆★												
C	B	A												
事業名		育英奨学資金貸付事業費			資料編	6頁								
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します											
概 要	優良な生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、無利子で奨学資金の貸付けを行い、社会に有用な人材を育成する。													
30年度 目 標	新規貸付人数3人													
30年度 実 績 等	◇新規貸付者 大学生1人。継続大学生5人に貸付けを行った。 （大学生50,000円/月、高校生15,000円/月）													
29年度 実 績 等	◇新規貸付者 大学生3人。継続大学生7人、専門学校生1人に貸付けを行った。 （大学生50,000円/月、高校生15,000円/月）													
課題及び 今後の 取り組み	新規の応募者が減少している現状を踏まえ、制度の見直しや市民への周知について検討が必要である。また、新たな奨学金制度も含め検討する。 新規応募者の状況 H27 1人、H28 3人、H29 3人、H30 1人	評 価	↑ 実 現 度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td>★</td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>☆</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30★H29	A			B	★		C	☆	A	
A														
B	★													
C	☆	A												

事業名		学校給食推進事業費			資料編	12頁
目 標	自立と創造・共生を育む学校教育の充実	方 針	6 一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備に努めます			
概 要	各小学校・中学校における給食業務の衛生管理を徹底し、安定した給食を提供する。					
30年度 目 標	保菌・食品検査の実施率100%					
30年度 実 績 等	◇保菌・食品検査の実施率100% ◇鷺津小学校・新居小学校・岡崎小学校・岡崎中学校・鷺津中学校・新居中学校の給食業務委託					
29年度 実 績 等	◇保菌・食品検査の実施率100% ◇鷺津小学校・新居小学校・岡崎中学校の給食業務委託					
課題及び 今後の 取り組み	平成30年4月から岡崎小学校、鷺津中学校、新居中学校の学校給食調理委託の開始に伴い、「学校給食推進事業」として新たに予算化した。 緊急を要する非常勤職員等（給食員）の雇用確保が難しいため、各小学校・中学校の給食調理業務の委託化の拡充を検討する。	評価	↑ 実 現 度	A B C	★☆☆ A B A 重要度→ ☆H30 ★H29	
事業名		各小学校管理運営費及び小学校施設管理運営費			資料編	13頁
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります			
概 要	小学校教育及び児童の健全な教育環境の維持及び充実を図るため、消耗品、光熱水費、施設の修繕料、保守委託、備品購入費等の経費を計上し、小学校施設の適切な管理運営を行う。					
30年度 目 標	小学校内での修繕件数50件					
30年度 実 績 等	◇湖西市全小学生3,082人（平成30年5月1日現在） ◇小学校の運営費として計154,205千円（50,034円/人）を執行した。 ◇6校で48件の修繕を行った。					
29年度 実 績 等	◇湖西市全小学生3,165人（平成29年5月1日現在） ◇小学校の運営費として計147,765千円（46,687円/人）を執行した。 ◇6校で42件の修繕を行った。					
課題及び 今後の 取り組み	平成29年度と比較し多くの修繕を実施できたが、財政上の問題もあり、まだまだ修繕や備品購入など、各小学校の要望には充分な対応ができていない。 今後の計画的な施設修繕・備品購入等の推進のため、予算の確保に努める。	評価	↑ 実 現 度	A B C	★☆☆ A B A 重要度→ ☆H30 ★H29	
事業名		各小学校教育振興費			資料編	14頁
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります			
概 要	小学校教育の振興を図るため、必要な教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入し教育振興の充実を図る。					
30年度 目 標	購入図書冊数の前年度比100%					
30年度 実 績 等	◇湖西市全小学生3,082人（平成30年5月1日現在） ◇各小学校計で9,384千円（3,045円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇6校で660冊の図書を購入。前年度比85.8%。					
29年度 実 績 等	◇湖西市全小学生3,165人（平成29年5月1日現在） ◇各小学校計で10,166千円（3,212円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇6校で769冊の図書を購入。前年度比77.6%。					
課題及び 今後の 取り組み	財政上の問題もあり、各小学校の要望には充分な対応ができていない。 教育振興費は、学力向上の基幹であり、今後、予算の確保に努める。	評価	↑ 実 現 度	A B C	★☆☆ A B A 重要度→ ☆H30★H29	

事業名		教育扶助費（小学校）		資料編	15頁									
目 標		教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します										
概 要		小学校における教育の円滑な実施を図るため、経済的理由等により就学困難な児童の保護者・特別支援学級に就学する児童の保護者に対し、必要な学用品・通学用品費等を援助する。												
30年度 目 標		援助の支給人数100人												
30年度 実績等		◇就学援助費補助として49人に2,989千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として73人に2,454千円補助した。												
29年度 実績等		◇就学援助費補助として34人に2,000千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として66人に2,219千円補助した。												
課題及び 今後の 取り組み		新入学用品費の入学前支給について検討し、平成31年4月から市内小学校に入学予定の児童に対し、新入学用品費の入学前支給を実施した。 時代を反映し増加傾向にあり、また貧困家庭対策の一環として社会的重要性が増しているため、対象費目の拡大、効果的な支給時期等を検討する必要がある。	評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td>★☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆H30★H29	A		★☆	B			C	B	A
A		★☆												
B														
C	B	A												
事業名		一般諸経費（小学校部活動費交付金）		資料編	15頁									
目 標		教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します										
概 要		小学校の部活動を育成し、児童の体力・知力の向上及び学校教育の充実を図るため、部活動に要する経費を補助する。												
30年度 目 標		補助金の交付学校数												
30年度 実績等		◇1校あたり10万円の補助金を6校すべてに交付した。 ◇全国大会等に出場の場合は、交通費、宿泊費の2分の1以内の額を交付することとなっているが、該当なし。												
29年度 実績等		◇1校あたり10万円の補助金を6校すべてに交付した。 ◇全国大会等に出場の場合は、交通費、宿泊費の2分の1以内の額を交付することとなっているが、該当なし。												
課題及び 今後の 取り組み		一律10万円の交付について、大規模校、小規模校間の不公平が言われることがあるが、大会（記録会等）が市内に限られている。また、学校からも概ね問題ないとの評価であり、当面現状の方法で様子を見る。	評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td>★☆</td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆H30★H29	A	★☆		B			C	B	A
A	★☆													
B														
C	B	A												
事業名		小学校施設整備費		資料編	15頁									
目 標		園児・児童・生徒が安全で安心して生活できる施設整備の充実	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります										
概 要		小学校の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。												
30年度 目 標		工事中における児童の安全確保と学校業務の円滑な進行（％）												
30年度 実績等		◇白須賀小学校給食室空調設備取替工事 7,290千円 冬休み中の生徒不在期間を中心に安全・円滑に施工し、100%完了した。												
29年度 実績等		◇新居小学校南校舎屋上防水工事 14,450千円 夏休み中の児童不在期間を中心に安全・円滑に施工し、100%完了した。 ◇鷺津小学校北校舎多目的トイレ設置工事 4,063千円 北校舎の多目的トイレ新設にあたり学校と調整し、安全・円滑に進め年度内に100%完了した。												
課題及び 今後の 取り組み		施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、児童の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実をめざして施設整備を進める。 公共施設再配置計画と教育施設地域拠点構想に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。	評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆H30 ★H29	A			B		★☆	C	B	A
A														
B		★☆												
C	B	A												

事業名			各中学校管理運営費及び中学校施設管理運営費		資料編	16頁									
目 標		教育施策の円滑な運営	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります											
概 要		中学校生徒の健全な教育環境の維持及び充実を図るため、消耗品、燃料費、光熱水費、施設の修繕料、保守委託、備品購入費等の経費を計上し、中学校施設の適切な管理運営を行う。													
30年度 目 標		中学校内での修繕件数30件													
30年度 実 績 等		◇湖西市全中学生1,611人（平成30年5月1日現在） ◇中学校の運営費として計134,480千円（83,476円/人）を執行した。 ◇5校で26件の修繕を行った。													
29年度 実 績 等		◇湖西市全中学生1,687人（平成29年5月1日現在） ◇中学校の運営費として計131,120千円（77,724円/人）を執行した。 ◇5校で26件の修繕を行った。													
課題及び 今後の 取り組み		財政上の問題もあり、修繕や備品購入など、各中学校の要望には十分な対応ができていない。計画的な修繕・備品購入を進めるため、今後、予算の確保に努める。	評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30 ★H29	A			B		★☆☆	C	B	A	
A															
B		★☆☆													
C	B	A													
事業名			各中学校教育振興費		資料編	17頁									
目 標		教育施策の円滑な運営	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります											
概 要		中学校における中等普通教育に必要な教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入し、教育振興の整備充実を図る。													
30年度 目 標		購入図書冊数の前年度比100%													
30年度 実 績 等		◇湖西市全中学生1,611人（平成30年5月1日現在） ◇各中学校計で9,471千円（5,879円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇5校で909冊の図書を購入。前年度比97.7%。													
29年度 実 績 等		◇湖西市全中学生1,687人（平成29年5月1日現在） ◇各中学校計で11,339千円（6,721円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇5校で930冊の図書を購入。前年度比72.9%。													
課題及び 今後の 取り組み		財政上の問題もあり、各小学校の要望には十分な対応ができていない。教育振興費は、学力向上の基幹であり、今後、予算の確保に努める。	評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30 ★H29	A			B		★☆☆	C	B	A	
A															
B		★☆☆													
C	B	A													
事業名			教育扶助費（中学校）		資料編	18頁									
目 標		教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します											
概 要		中学校における教育の円滑な実施を図るため、経済的理由等により就学に必要な学用品・通学用品費等を補助する。													
30年度 目 標		支給人数60人													
30年度 実 績 等		◇就学援助費補助として30人に2,648千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として38人に1,658千円補助した。													
29年度 実 績 等		◇就学援助費補助として28人に2,331千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として34人に1,531千円補助した。													
課題及び 今後の 取り組み		新入学用品費の入学前支給について検討し、平成31年4月から市内中学校に入学予定の児童に対し、新入学用品費の入学前支給を実施した。 時代を反映し増加傾向にあり、また貧困家庭対策の一環として社会的重要性が増しているため、対象費目の拡大、効果的な支給時期等を検討する必要がある。	評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30 ★H29	A		★☆☆	B			C	B	A	
A		★☆☆													
B															
C	B	A													

事業名		一般諸経費（中学校部活動費交付金）		資料編	18頁
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します		
概 要	中学校の部活動を育成し、生徒の体力・知力の向上及び学校教育の充実を図るため、部活動に要する経費を補助する。				
30年度 目 標	交付金交付のクラブ件数54クラブ				
30年度 実績等	◇クラブ数、部員数割として54クラブ、部員数1,606人に計4,285千円を交付した。 ◇全国大会選手派遣事業（水泳:岡山県倉敷市、陸上:岡山県岡山市、柔道:広島県広島市）として15人に326千円を交付した。				
29年度 実績等	◇クラブ数、部員数割として54クラブ、部員数1,687人に計4,488千円を交付した。 ◇全国大会選手派遣事業（水泳:鹿児島県鹿児島市、陸上:熊本県熊本市）として14人に441千円を交付した。				
課題及び 今後の 取り組み	選手派遣事業は交通費・宿泊費の1/2以内の交付であり、全額負担ではないので生徒の保護者負担が発生する。		評価	↑ 実現度	A ★☆ B C B A 重要度→ ☆H30 ★H29
事業名		中学校施設整備費		資料編	19頁
目 標	園児・児童・生徒が安全で安心して生活できる施設整備の充実	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります		
概 要	中学校の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。				
30年度 目 標	工事中における児童の安全確保と学校業務の円滑な進行（％）				
30年度 実績等	◇新居中学校南校舎屋上外壁改修工事 44,020千円 7月に工事を開始し、12月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。				
29年度 実績等	◇新居中学校ガラス飛散防止工事 17,919千円 夏休み中の生徒不在期間（8月中）に安全・円滑に施工し、100%完了した。 ・本事業の実施により、市内小中学校のガラス飛散防磁対策が完了				
課題及び 今後の 取り組み	施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、児童の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実をめざして施設整備を進める。 公共施設再配置計画と教育施設地域拠点構想に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。		評価	↑ 実現度	A B ★☆ C B A 重要度→ ☆H30 ★H29
事業名		幼稚園施設管理運営費		資料編	21頁
目 標	園児・児童・生徒が安全で安心して生活できる施設整備の充実	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります		
概 要	幼稚園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設管理を行う。				
30年度 目 標	幼稚園内の修繕件数40件				
30年度 実績等	◇6園の廃棄物処理を行い、施設の設備保守点検等・廃棄物の収集運搬を委託した。 ◇6園で19件の修繕を行った。				
29年度 実績等	◇6園の廃棄物処理を行い、施設の設備保守点検等・廃棄物の収集運搬を委託した。 ◇6園で16件の修繕を行った。				
課題及び 今後の 取り組み	財政上の問題もあり、修繕など各園の要望には十分な対応ができない。計画的な修繕を行うため、今後、予算の確保に努める。		評価	↑ 実現度	A B C B ☆★ 重要度→ ☆H30 ★H29

事業名		幼稚園施設整備費		資料編	22頁									
目 標	園児・児童・生徒が安全で安心して生活できる施設整備の充実		方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります										
概 要	幼稚園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。													
30年度 目 標	設計書および設計図面等の完成（100％）													
30年度 実 績 等	◇岡崎幼稚園こども園化事業耐震改修・増築工事設計業務 12,744千円 5月に設計業務を開始し、3月に設計書および設計図面を完成させた。（100％） ◇新居幼稚園こども園化改修工事設計業務 1,339千円 5月に設計業務を開始し、9月に設計書および設計図書を完成させた。（100％）													
29年度 実 績 等	なし													
課題及び 今 後 の 取 り 組 み	施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、児童の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実をめざして施設整備を進める。 公共施設再配置計画と教育施設地域拠点構想に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。		評価	↑ 実 現 度	<table><tr><td>A</td><td></td><td>☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆H30 ★H29	A		☆	B			C	B	A
A		☆												
B														
C	B	A												

[学校教育課事業評価の概要]

事業名		教育指導関係経費（教育指導関係事業）			資料編	6頁									
目 標	自立と創造・共生を育む学校教育の充実	方 針	6	一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備に努めます											
概 要	各小学校・中学校での学校教育の充実を図るため、教育指導に関わる諸事業を推進する。														
30年度 目 標	就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数70回 学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数40回 生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答える学校の割合100% 外国人児童生徒適応指導教室事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答える学校の割合100% 不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒の出席率 75% 語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,950冊 ポルトガル語通訳派遣事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答える学校の割合90% 特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員30人配置 いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施														
30年度 実 績 等	◇就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数68回 ◇学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数59回 ◇生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答える学校の割合100% ◇外国人児童生徒適応指導教室事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答えた学校の割合100% ◇不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒出席率 38% ◇語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,991冊 ◇ポルトガル語通訳派遣事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答えた学校の割合90% ◇特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員30人配置 ◇いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施														
29年度 実 績 等	◇就学指導事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数68回 ◇学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数42回 ◇学校給食推進事業 鷺津小学校・新居小学校・岡崎中学校の給食業務委託 ◇生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答える学校の割合100% ◇外国人児童生徒適応指導教室事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答えた学校の割合100% ◇不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒出席率 48% ◇語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,978冊 ◇ポルトガル語通訳派遣事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答えた学校の割合90% ◇特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問15回 特別支援教育支援員30人配置 ◇いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施 ◇安全教育推進事業 防災講演会参加者（児童生徒・教員）数 1,003人														
課題及び 今後の 取り組み	近年、外国人児童生徒の増加が続いている。中でも、日本語の全く分からない児童の編入が相次いだため、編入児童生徒も学校も対応に苦慮している。指導員や通訳員の曜日配置や配置日数を工夫するだけでは対応しきれない状況にあり、対応策を考えていかなければならない。 通常学級において特別な支援を要する子が増加傾向にある。個別に支援することで安定した学校生活を送ることができるようにするために、巡回相談員、特別支援教育支援員の配置は欠かせない。今後も実態に即した配置を継続していく。			評価	<table><tr><td rowspan="3">↑ 実 現 度</td><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>☆☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆H30 ★H29	↑ 実 現 度	A			B		☆☆	C	B	A
↑ 実 現 度	A														
	B		☆☆												
	C	B	A												

事業名		学校保健衛生費		資料編	9頁												
目 標	自立と創造・共生を育む学校教育の充実	方 針	7	社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します													
概 要	学校保健安全法に基づき、児童生徒、園児及び教職員の健康保持増進のため定期健康診断やけが補償等への対応を行う。 また、法令の趣旨に従って、校医の配置、定期健康診断を実施する。																
30年度 目 標	児童生徒・教職員の受診率 100%																
30年度 実 績 等	◇校医配置 学校内科医33人、学校眼科医11人、学校歯科医21人、学校薬剤師11人 ◇児童生徒定期健診（内科・眼科・歯科）11校 年1回 就学児健診 小学校6校 ◇薬学講座 小学校6回・中学校5回 ◇教職員健康診断 生活習慣病検診135人、指定年齢検診43人、胸部X線検査126人、ストスフィク49人 ◇役務 水質検査、市長会・日本スポーツ振興センター共済加入 児童生徒・教職員の受診率 100%																
29年度 実 績 等	◇校医配置 学校内科医33人、学校眼科医11人、学校歯科医21人、学校薬剤師11人 ◇児童生徒定期健診（内科・眼科・歯科）11校 年1回 就学児健診 小学校6校 ◇薬学講座 小学校6回・中学校5回 ◇教職員健康診断 生活習慣病検診143人、指定年齢検診29人、胸部X線検査111人、ストスフィク50人 ◇役務 水質検査、市長会・日本スポーツ振興センター共済加入 児童生徒・教職員の受診率 100%																
課題及び 今 後 の 取 り 組 み	法律に基づき、適正に定期健診等を実施する。学校保健会、医師会と連携し、令和元年度より小学校1、4年生、中学校1年生を対象として、耳鼻科検診を開始した。初年度は順調に実施ができたが、今後も学校保健会、医師会と相談しながら進めていきたい。			評 価	<table><tr><td>↑ 実 現 度</td><td>A</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td></td><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30 ★H29	↑ 実 現 度	A		★☆☆		B				C	B	A
↑ 実 現 度	A		★☆☆														
	B																
	C	B	A														
事業名		指導資料作成事業費		資料編	9頁												
目 標	自立と創造・共生を育む学校教育の充実	方 針	3	夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます													
概 要	小学校社会科副読本「わたしたちの湖西」の指導資料作成作業																
30年度 目 標	指導資料作成事業 副読本・評価テストの活用率100%																
30年度 実 績 等	◇指導資料作成事業 令和3年度改訂に向けて編集、印刷、発行。各校に3年分を配付完了。																
29年度 実 績 等	◇指導資料作成事業 副読本を活用した指導案作成及び評価のための指標づくり、補助教材の研究 副読本・評価テストの活用率100%																
課題及び 今 後 の 取 り 組 み	令和3年度配付に向け、具体的な改訂作業が始まる。改訂委員となる一部の教師の負担が大きいため、改訂委員の人数・実施回数等を検討していく。各校における人事構成上、作成委員を長年担当する教員が多いため、数年を見通した人選が必要である。また、編集作業等、作成委員にかかる負担が大きいため、組織の構成を工夫していきたい。			評 価	<table><tr><td>↑ 実 現 度</td><td>A</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td></td><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30 ★H29	↑ 実 現 度	A		★☆☆		B				C	B	A
↑ 実 現 度	A		★☆☆														
	B																
	C	B	A														

事業名	研究指定事業費（小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業）			資料編	10頁									
目 標	自立と創造・共生を育む学校教育の充実	方 針	8 地域とともに歩む学校づくりを推進します											
概 要	家庭教育の充実を目指す学びの基礎づくりや児童生徒や地域の実態に応じた活動、思い出となる行事など、特色ある学校づくりを推進し、地域、家庭と協力し、子どもの健やかな成長を図る。													
30年度 目 標	学校教育課事業評価においてAと答えた学校の割合100%													
30年度 実 績 等	◇外部講師を依頼した授業や体験学習を各小中学校の特色に応じて実施（特色ある学校づくり） ◇小中学生の発達段階に合わせた「学びの基礎7つの取組」の改訂 クリアファイルを活用した保護者への啓発（学びの基礎づくり） ◇各中学校の計画に基づいて、長距離ウォークやスキー教室、環境学習等を実施（思い出に残る1学校1行事創造） 学校教育課事業評価においてAと答えた学校の割合90%													
29年度 実 績 等	◇外部講師を依頼した授業や体験学習を各小中学校の特色に応じて実施（特色ある学校づくり） ◇「学びの基礎7つの取組」クリアファイルを利用して保護者に啓発（学びの基礎づくり） ◇各中学校の計画に基づいて、長距離ウォークやスキー教室、環境学習等を実施（思い出に残る1学校1行事創造） 学校教育課事業評価においてAと答えた学校の割合100%													
課題及び 今後の 取り組み	各校の児童生徒や地域の実態に応じた教育活動を学校裁量で企画運営できるため、学校からの評価は高く、特色が色濃く表れている。「社会に開かれた教育課程」に即した活動を展開するにあたり、有効活用できるように各校に内容の吟味を呼びかけていきたい。 全国学力・学習状況調査の質問紙調査で「規則正しい生活」や「地域との関わり」などが全国平均を大きく上まわっており、「学びの基礎7つの取組」の成果が認められる。			評価	↑ 実現度 <table><tr><td>A</td><td></td><td>☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆H30 ★H29	A		☆	B		★	C	B	A
A		☆												
B		★												
C	B	A												

[幼児教育課事業評価の概要]

事業名		各保育園管理運営費及び公立保育所総務費		資料編	1・3頁
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます。 5 魅力ある園づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます。		
概 要	児童の健全な育成支援を目的に環境の維持及び充実を図るため、園運営に係る経費及び公立保育園の非常勤職員報酬及び臨時雇い賃金等を計上し、保育園の適切な管理・運営を行う。				
30年度 目 標	内部事務のため未設定				
30年度 実 績 等	◇公立保育園児数(平成30年4月1日現在) 356人 ◇公立保育園3園の管理運営費43,784千円、共通経費(主に人件費)97,392千円。				
29年度 実 績 等	◇公立保育園入所園児数(平成29年4月1日現在) 342人 ◇公立保育園3園の管理運営費43,016千円、共通経費(主に人件費)99,456千円。				
課題及び 今後の 取り組み	公立保育園は施設の老朽化が著しく、幼稚園及び保育園等の再編計画、将来的な民営化等を視野に検討しているが、当面は園児の安全を考慮したなかでの小規模修繕にとどめる。 保育園への入所は公立・私立共に定員を超過し、入所待ち児童が発生している。 保育の標準時間が午前7時から午後6時までのため、(臨時・非常勤)保育士の確保が課題である。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	☆★ A
				重要度→ ☆H30 ★H29	
事業名		民間保育所等施設型給付費		資料編	1頁
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます。		
概 要	児童の身体的、精神的及び社会的な発達のために必要な生活水準を確保するため、児童福祉法に基づき、民間保育園等が保育の実施に要する経費(事業費・人件費・管理費)を支出する。				
30年度 目 標	園児数(各月初めの児童数の累計) 6,700人				
30年度 実 績 等	◇園児数(各月初めの児童数の累計) 6,941人 ◇民間保育園等(5園)と広域入所保育園等(7園)の運営費として施設型給付費495,039千円。				
29年度 実 績 等	◇園児数(各月初めの児童数の累計) 6,866人 ◇民間保育園等(5園)と広域入所保育園等(7園)の運営費として施設型給付費584,579千円。				
課題及び 今後の 取り組み	平成30年度末には入所率が平均110%、入所待ち児童は120名となっている。 少子化及び保育料無償化等、子育て支援に係る環境は変遷しており、保育ニーズをいかに把握するかが課題となる。 また、幼児教育・保育の無償化により、財政的負担の増加が懸念される。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	☆★ A
				重要度→ ☆H30 ★H29	
事業名		民間保育所助成事業費		資料編	2頁
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます。 4 保育環境の整備に努めます。		
概 要	民間保育園等に補助金を交付し、保育士等職員の処遇改善、施設の整備・改善及び保育サービスの充実を図る。				
30年度 目 標	乳幼児保育事業の実施園 5園 補助対象事業実施園 5園 新設・改築等への補助及びそれに係る借入金金利子への補助 4園				
30年度 実 績 等	◇乳幼児保育事業の実施園 5園 ◇補助対象事業実施園 5園 ◇新設・改築等への補助及びそれに係る借入金金利子への補助 4園 ◇多様な保育事業 31,822千円 ◇保育対策事業 28,274千円 ◇民間保育園等施設整備事業 1,918千円(償還金利子)				
29年度 実 績 等	◇乳幼児保育事業の実施園 5園 ◇補助対象事業実施園数 5園 ◇新設改築等への補助件数及びそれに係る借入金金利子への補助 4園 ◇多様な保育事業 33,199千円 ◇保育対策事業 20,549千円 ◇民間保育園等施設整備事業 15,209千円(償還金利子2,066千円、民間保育園施設整備補助13,143千円)				
課題及び 今後の 取り組み	保育サービスの充実には必要な助成であり、今後も継続実施に努める。 特に保育士の処遇改善は全国的に重要な課題として捉えられており、国の補助要綱に合わせて実施していく。 また、民間保育園施設整備(ハード事業)にかかる助成額は高額となるため、予算確保が課題となる。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	☆★ A
				重要度→ ☆H30 ★H29	

事業名		幼稚園一時預かり事業費		資料編	10頁														
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	3 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます。																
概 要	幼稚園における子育て支援機能の充実及び保護者の社会参画を支援する。保育室の確保が可能であり、地域ニーズの高い園において開園日における子どもの一時的預かりを実施。平成28年度より夏休み等の長期休暇中の子ども、平成29年度より保育園等への入所待ち児童、平成30年度より一時帰国している子ども、のそれぞれ一時預かりを実施。																		
30年度 目 標	預かり保育平均実施日数 242日																		
30年度 実 績 等	◇預かり保育平均実施日数 224日 ◇開園日一時預かり：鷺津幼稚園・白須賀幼稚園・岡崎幼稚園・新居幼稚園 ◇長期休園日一時預かり：白須賀幼稚園(センター方式による運営) ◇緊急一時預かり：新居幼稚園(平成29年度より) ◇非在籍児一時預かり：公立幼稚園(平成30年度より) ◇主に非常勤職員報酬及び消耗品費等9,249千円。																		
29年度 実 績 等	◇預かり保育平均実施日数 216日 ◇開園日一時預かり：鷺津幼稚園・白須賀幼稚園・岡崎幼稚園・新居幼稚園 ◇長期休園日一時預かり：白須賀幼稚園(センター方式による運営) ◇緊急一時預かり：新居幼稚園 ◇主に非常勤職員報酬及び消耗品費等9,586千円。																		
課題及び 今後の 取り組み	平成27年度からの子ども・子育て支援新制度により、岡崎幼稚園及び白須賀幼稚園に加え、試行中の新居幼稚園及び要望の高い鷺津幼稚園で実施した。 平成28年度から長期休園中の一時預かりを白須賀幼稚園でセンター方式で実施した。 平成29年度から入所待ち児童対策として新居幼稚園で緊急一時預かりを実施した。 平成30年度から一時帰国した子どもの一時預かり保育を公立幼稚園で実施した。			評価	<table><tr><td rowspan="3">↑ 実 現 度</td><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>☆☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">重要度→ ☆H30 ★H29</td></tr></table>	↑ 実 現 度	A			B		☆☆	C	B	A	重要度→ ☆H30 ★H29			
↑ 実 現 度	A																		
	B		☆☆																
	C	B	A																
重要度→ ☆H30 ★H29																			
事業名		幼稚園教育指導関係経費		資料編	11頁														
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	3 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます 4 保育環境の整備に努めます																
概 要	各種事業を実施することで、幼稚園教育の充実及び向上を図る。																		
30年度 目 標	巡回相談の回数 22回																		
30年度 実 績 等	◇巡回相談の回数 22回 ◇幼児ことばの教室事業 2,090千円 ◇特別支援教育推進事業 9,492千円 ◇幼稚園研究指定事業 52千円 ◇幼稚園教育振興事業 917千円 ◇幼稚園親子読書推進事業 278千円																		
29年度 実 績 等	◇巡回相談の回数 18回 ◇幼児ことばの教室事業 2,084千円 ◇特別支援教育推進事業 8,647千円 ◇幼稚園研究指定事業 52千円 ◇幼稚園教育振興事業 543千円 ◇幼稚園親子読書推進事業 299千円																		
課題及び 今後の 取り組み	支援を要する子、個々の状況に応じた支援が必要であり、支援員の確保及び支援のスキルの向上が重要となる。 また、巡回相談員の確保にも苦慮している。			評価	<table><tr><td rowspan="3">↑ 実 現 度</td><td>A</td><td></td><td>☆☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">重要度→ ☆H30 ★H29</td></tr></table>	↑ 実 現 度	A		☆☆	B			C	B	A	重要度→ ☆H30 ★H29			
↑ 実 現 度	A		☆☆																
	B																		
	C	B	A																
重要度→ ☆H30 ★H29																			
事業名		各幼稚園管理運営費及び幼稚園総務費		資料編	19・20頁														
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます。 5 魅力ある園づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます。																
概 要	幼稚園教育及び園児の健全な教育環境の維持及び充実を図るため、園運営に係る経費、施設の維持及び修繕等の経費を計上し、幼稚園施設の適切な管理・運営を行う。																		
30年度 目 標	内部事務のため未設定																		
30年度 実 績 等	◇公立幼稚園児数(平成30年5月1日現在) 627人 ◇公立幼稚園6園の管理運営費16,126千円、共通経費43,955千円。																		
29年度 実 績 等	◇公立幼稚園児数(平成29年5月1日現在) 681人 ◇公立幼稚園6園の管理運営費15,966千円、共通経費47,420千円。																		
課題及び 今後の 取り組み	公立幼稚園は施設の老朽化が著しく、幼稚園及び保育園等の再編計画、将来的な民営化等を視野に入れ検討するが、当面は園児の安全を考慮したなかでの小規模修繕にとどめる。 幼稚園教諭の確保も課題であるが、幼稚園教諭は免許更新が必須となり、未更新の潜在保育士が多く、人材確保に苦慮している。			評価	<table><tr><td rowspan="3">↑ 実 現 度</td><td>A</td><td></td><td>☆☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">重要度→ ☆H30 ★H29</td></tr></table>	↑ 実 現 度	A		☆☆	B			C	B	A	重要度→ ☆H30 ★H29			
↑ 実 現 度	A		☆☆																
	B																		
	C	B	A																
重要度→ ☆H30 ★H29																			

事業名		一般諸経費（幼稚園費）		資料編	20頁
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます。 3 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます。		
概 要	保護者の経済的負担の軽減、幼稚園教育の充実及び向上並びに私立幼稚園経営の健全性の確保を図るため補助金を計上する。				
30年度 目 標	就園奨励事業補助人数 20人				
30年度 実 績 等	◇就園奨励事業補助人数 14人 ◇就園奨励事業補助金交付額 2,391千円				
29年度 実 績 等	◇就園奨励事業補助人数 15人 ◇就園奨励事業補助金交付額 1,783千円				
課題及び 今後の 取り組み	就園奨励費は、施設型給付を受けない私立幼稚園に就園している園児の保護者に対する援助であるため、子ども・子育て支援新制度移行により対象園、対象者が減少している。今後も新制度に移行しない園は減少傾向であるが、幼児教育・保育の無償化に向けた段階的な施策による国の補助基準に合わせて補助する。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	☆☆ B A 重要度→ ☆H30 ★H29
事業名		私立幼稚園等施設型給付費		資料編	21頁
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます。		
概 要	私立幼稚園等が幼児教育の実施に要する経費（事業費・人件費・管理費）を支出する。				
30年度 目 標	延べ児童数(各月初めの児童数の累計) 1,500人				
30年度 実 績 等	◇延べ児童数(各月初めの児童数の累計) 2,030人 ◇市内民間こども園(3園)と市外広域入所保育園等(5園)の運営費として施設型給付費91,415千円。				
29年度 実 績 等	◇延べ児童数(各月初めの児童数の累計) 1,951人 ◇市内民間こども園(1園)と市外広域入所保育園等(4園)の運営費として施設型給付費78,139千円。				
課題及び 今後の 取り組み	平成27年度からの子ども・子育て支援新制度により、この制度に移行した私立幼稚園・こども園等に施設型給付費を支出するようになり、今後移行する市外の園が増加することが予想されるため、施設型給付費は増加する傾向にある。 また、保育園と同様に、少子化及び幼児教育・保育の無償化等、子育て支援に係る環境は変遷しており、保育ニーズをいかに把握するかが課題となる。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	☆☆ B A 重要度→ ☆H30 ★H29
事業名		私立幼稚園等助成事業費		資料編	21頁
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	3 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます。		
概 要	一時預かり事業を行う私立幼稚園等に補助金を交付し、保育サービスの充実を図る。				
30年度 目 標	補助件数 1件				
30年度 実 績 等	◇補助件数 1件 ◇一時預かり(幼稚園型)を行う私立こども園(1園)への保育対策事業費666千円。				
29年度 実 績 等	◇補助件数 1件 ◇一時預かり(幼稚園型)を行う私立こども園(1園)への保育対策事業費831千円。				
課題及び 今後の 取り組み	平成27年度からの子ども・子育て支援新制度により、一時預かり(幼稚園型)事業を行う新制度に移行した私立幼稚園等に保育対策事業費の補助を開始した。 私立幼稚園等の安定した運営補助のため継続していく。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	☆☆ B A 重要度→ ☆H30 ★H29

[社会教育課 事業評価の概要]

事業名		社会教育総務関係経費		資料編	23頁									
目 標	子どもを健やかに育てる社会教育の充実	方 針	1 家庭教育支援に努めます 4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します											
概 要	社会教育推進のため、社会教育委員、生涯学習推進協議会委員及び社会教育指導員を置く。													
30年度 目 標	社会教育委員会の開催：3回開催 社会教育指導員設置事業：5人設置													
30年度 実績等	◇社会教育委員会の開催：3回開催 ◇生涯学習推進協議会の開催：1回開催 ◇社会教育指導員設置事業：指導員5人設置（家庭教育学級、ふたば学級、ヤングダイヤルなどを担当）													
29年度 実績等	◇社会教育委員会の開催：3回開催 ◇生涯学習推進協議会の開催：1回開催 ◇社会教育指導員設置事業：指導員5人設置（家庭教育学級、ふたば学級、ヤングダイヤルなどを担当）													
課題及び 今後の 取り組み	社会教育の振興をはかるため、高い識見と専門性を持つ者を社会教育指導員として配置する。 湖西市生涯学習推進計画を総合的かつ効果的に推進するために、社会教育委員や生涯学習推進協議会委員より意見を徴収し、施策に反映していく。 平成30年4月に社会教育委員により「生涯学習推進に向けた提言（家庭・親・地域のつながり）」の提言書が提出され、それに対し生涯学習推進員などより意見を徴収し、新たな取り組みを検討していく。		評価	↑ 実 現 度	<table><tr><td>A</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30 ★H29	A		★☆☆	B			C	B	A
A		★☆☆												
B														
C	B	A												
事業名		生涯学習推進費		資料編	23頁									
目 標	学習活動の環境を充実する生涯学習の推進	方 針	1 家庭教育支援に努めます 2 地域における教育力向上のため学校、家庭、地域等の連携を図ります 4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します											
概 要	家庭教育、生涯学習の重要性から、各年代層に学習の機会を提供する。													
30年度 目 標	家庭教育サポート事業：講座参加人数 2,300人 青少年教育推進事業：イベント参加者数 2,000人 高齢者教育の推進事業：参加者数 475人 生涯学習の推進：達人録登録人数 250人 おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 4,500人 放課後子ども教室推進事業：教室申込者数 230人 学校支援本部事業：支援本部設置数 3校													
30年度 実績等	◇家庭教育サポート事業：講座参加人数 1,056人 （ふたば学級、家庭教育学級、幼小で教育講演会を実施） ◇青少年教育推進事業：イベント参加者数 2,250人 （科学の体験、親子体験教室、コーちゃんフェスタ、ものづくり体験事業を実施） ◇高齢者教育事業：寿大学、生涯大学「海鳴学園」を開設。参加者数 367人 ◇生涯学習の推進：達人録登録人数 130人、生涯学習講座41講座、子ども講座3講座の企画及び実施 ◇おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 101件、5,336人 ◇放課後子ども教室推進事業：市内6小学校で実施。教室申込者数 241人 ◇学校支援本部事業：学校支援本部を3校設置。（白須賀小、白須賀中、知波田小）													
29年度 実績等	◇家庭教育サポート事業：ふたば学級、家庭教育学級、幼小中で教育講演会を実施。 講座参加人数 1,103人 ◇青少年教育推進事業：科学の体験、親子体験教室、コーちゃんフェスタ、ものづくり体験事業を開催 イベント参加者数 2,728人 ◇高齢者教育事業：寿大学、生涯大学「海鳴学園」を開設。参加者数 422人 ◇生涯学習の推進：達人録登録人数 134人 ◇おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数（申請分） 90件 6,356人 ◇放課後子ども教室推進事業：市内6小学校で実施。教室申込者数 247人 ◇学校支援本部事業：学校支援本部設置数 3校													
課題及び 今後の 取り組み	ふたば学級や家庭教育学級、放課後子ども教室の参加者が増加するよう、実施内容等を検討する。 湖西市生涯学習推進計画に基づき、ライフステージに応じた事業を展開する。 市内全地区での事業展開を継続する。（ふたば学級、家庭教育学級、寿大学など） 放課後子ども教室を市内全小学校での実施を継続する。		評価	↑ 実 現 度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30 ★H29	A			B		★☆☆	C	B	A
A														
B		★☆☆												
C	B	A												

事業名		西部公民館等管理運営費		資料編	27頁									
目 標	学習活動の環境を充実する生涯学習の推進	方 針	4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します 5 市民が集い、結びあう公民館活動に努めます 6 安全で安心な施設の管理運営に努めます											
概 要	西部公民館の施設の維持管理と各種講座、公民館まつりの開催。													
30年度 目 標	利用者数 47,000人													
30年度 実 績 等	◇施設管理業務：利用者数 41,775人 ◇生涯学習講座14講座と子ども講座1 講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは、11月17、18日に開催、3,500人の来場者があった。													
29年度 実 績 等	◇施設管理業務：利用者総数 47,735人 ◇成人講座18講座と子ども講座1 講座を実施した。 ◇まつりは、11月18、19日に開催、3,050人の来場者があった。													
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化（昭和60年度建設）による維持管理費の増大。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。 利用拡大を周知し、一層の利用者数の増加に努める。		評 価	↑ 実 現 度	<table><tr><td>A</td><td>★</td><td></td></tr><tr><td>B</td><td>☆</td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆H30 ★H29	A	★		B	☆		C	B	A
A	★													
B	☆													
C	B	A												
事業名		青少年健全育成費		資料編	28頁									
目 標	子どもを健やかに育てる社会教育の充実	方 針	3 青少年健全育成意識の醸成に努めます											
概 要	青少年の健全な育成を図るため、健全育成大会の開催や子ども会等の青少年育成団体を支援する。													
30年度 目 標	青少年健全育成事業：「家庭の日」作品応募数 1,000点 成人式開催事業：参加率 80%													
30年度 実 績 等	◇青少年問題協議会：6月29日開催した。 ◇青少年健全育成事業：11月3日 健全育成大会の開催及び表彰を行った。 570人の参加があった。 ◇家庭の日普及事業：「家庭の日」作品（絵画、標語、詩）を募集した。応募数 667点 優秀作品による啓発品を作成し、啓発活動を実施した。 ◇青少年育成団体支援事業：子ども会、明湖会などの団体活動を支援した。 ◇成人式開催事業：1月13日 アメニティプラザで実施し、523人参加（参加率84%）があった。													
29年度 実 績 等	◇青少年問題協議会：6月29日開催した。 ◇青少年健全育成事業：10月28日 健全育成大会の開催及び表彰を行った。 570人の参加があった。 ◇家庭の日普及事業：「家庭の日」作品（絵画、標語、詩）を募集した。応募数 766点 優秀作品による啓発品を作成し、啓発活動を実施した。 ◇青少年育成団体支援事業：子ども会、明湖会などの団体活動を支援した。 ◇成人式開催事業：1月7日 アメニティプラザで実施し、455人参加（参加率83%）があった。													
課題及び 今後の 取り組み	社会全体で青少年を育成しようと機運を高め、事業を継続する。		評 価	↑ 実 現 度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆H30 ★H29	A			B		★☆	C	B	A
A														
B		★☆												
C	B	A												

事業名		青少年健全育成センター活動費			資料編	29頁									
目 標	子どもを健やかに育てる社会教育の充実	方 針	3 青少年健全育成意識の醸成に努めます												
概 要	青少年補導員による補導活動や社会教育指導員による相談活動等の青少年非行防止活動を行う。														
30年度 目 標	補導実施回数 140回														
30年度 実績等	◇街頭補導活動：月1～2回地区別定期補導及び夏季・冬季県下一斉補導 113回 ◇街頭キャンペーンを実施した。 ◇ヤングダイヤル電話相談活動：相談件数 9件														
29年度 実績等	◇街頭補導活動：月1～2回地区別定期補導及び夏季・冬季県下一斉補導 113回 ◇街頭キャンペーンを実施した。 ◇ヤングダイヤル電話相談活動：相談件数 11件														
課題及び 今後の 取り組み	2年ごとに地区で補導員を選出されるが、選出が難航する地区がある。			評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td>★</td><td>☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆H30 ★H29	A			B	★	☆	C	B	A
A															
B	★	☆													
C	B	A													
事業名		北部多目的研修施設管理運営費			資料編	33頁									
目 標	学習活動の環境を充実する生涯学習の推進	方 針	4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します 5 市民が集い、結びあう公民館活動に努めます 6 安全で安心な施設の管理運営に努めます												
概 要	北部多目的研修集会施設の維持管理と各種講座、まつりの開催。														
30年度 目 標	利用者数 18,000人														
30年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者数 14,665人 ◇生涯学習講座11講座と子ども講座1講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは10月27日に行い、2,000人の来場者があった。														
29年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者総数 15,239人 ◇生涯学習講座12講座と子ども講座1講座を実施した。 ◇まつりは10月21日に行い、1,200人の来場者があった。														
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化（昭和56年度建設）による維持管理費の増大。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。			評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>☆</td></tr></table> 重要度→ ☆H30 ★H29	A			B			C	★	☆
A															
B															
C	★	☆													
事業名		南部地区構造改善センター管理運営費			資料編	33頁									
目 標	学習活動の環境を充実する生涯学習の推進	方 針	4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します 5 市民が集い、結びあう公民館活動に努めます 6 安全で安心な施設の管理運営に努めます												
概 要	南部構造改善センターの維持管理と各種講座、まつりの開催。														
30年度 目 標	利用者数 25,000人														
30年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者総数 16,153人 ◇生涯学習講座10講座と子ども講座1講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは8月4日に行い、700人の来場者があった。														
29年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者総数 19,789人 ◇生涯学習講座14講座と子ども講座1講座を実施した。 ◇まつりは8月5日に行い、650人の来場者があった。														
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化（平成6年度建設）による維持管理費の増大。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。			評価	↑ 実現度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>☆</td></tr></table> 重要度→ ☆H30 ★H29	A			B			C	★	☆
A															
B															
C	★	☆													

[スポーツ・文化課 事業評価の概要]

事業名		文化振興関係経費			資料編	29頁
目 標	文化、芸術に親しむ機会の提供と支援を行う活動	方 針	2 文化、芸術の振興と支援に努めます			
概 要	芸術文化の振興及び市民の文化、芸術活動の支援を行う。					
30年度 目 標	市民芸術祭6200人、巡回劇場560人、ふるさと歌舞伎500人、トキワマンサク祭り900人の入場者をめざす。					
30年度 実 績 等	◇芸術文化振興事業：文化・芸能・美術の祭典開催 6,377人、市民文芸第9号発行 ◇県巡回劇場：市内小学5年対象（音楽鑑賞） 551人 ◇三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会：長野県下條村大会参加 250人 ◇トキワマンサクの里づくり事業：トキワマンサク祭り 409人 ※文化財保護保存関係は「文化財保護保存費」に記載					
29年度 実 績 等	◇芸術文化振興事業：文化・芸能・美術の祭典開催 5,440人、市民文芸第8号発行 ◇県巡回劇場：市内小学5年対象（音楽鑑賞） 528人 ◇三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会：愛知県豊橋市大会参加 600人 ◇トキワマンサクの里づくり事業：トキワマンサク祭り 448人 ※文化財保護保存関係は「文化財保護保存費」に記載					
課題及び 今後の 取り組み	文化協会をはじめ、各文化団体の高齢化が進んでおり、若年層の取り込みなどによって会の活性化を図る必要がある。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	★☆☆ B A 重要度→ ☆H30 ★H29	
事業名		文化財保護保存費			資料編	31頁
目 標	まちの歴史の保護、保存、整備に力を入れる文化活動	方 針	1 歴史の保存と継承に努めます			
概 要	指定文化財の保護保存に努めるとともに、記録保存及び史跡保存整備事業を行う。					
30年度 目 標	新たに指定物件の1件追加、新居関跡整備の委員会開催1回、指定文化財保護のための補助件数13件等をめざす。					
30年度 実 績 等	◇文化財保護審議会：平成30年11月26日開催 指定文化財の現況報告、指定文化財候補物件の検討を行った。 ◇文化財保護保存事業：指定文化財保存管理、公開のために14件の補助を行った。 ◇市内遺跡発掘調査事業：開発行為に伴い発掘調査を行った。 ◇大知波峠廃寺跡保存整備事業：草刈りを実施し、保存管理に努めた。 ◇新居関跡保存整備事業：女改之長屋復元工事、委員会・部会を1回開催した。 ◇湖西中学校南校舎「ふるさと学習室」を11月3日に一般公開した。また出前講座を2回開催した。					
29年度 実 績 等	◇文化財保護審議会：平成29年10月31日開催 指定文化財の現況報告、指定解除物件の検討を行った。 ◇文化財保護保存事業：指定文化財保存管理、公開のために12件の補助を行った。 ◇市内遺跡発掘調査事業：発掘調査資料の整理・保存作業を行った。 ◇大知波峠廃寺跡保存整備事業：草刈りを実施し、保存管理に努めた。 ◇新居関跡保存整備事業：北区域排水整備工事、女改之長屋実施設計、委員会・部会を1回開催した。 ◇湖西中学校南校舎「ふるさと学習室」を11月3日に一般公開した。また出前講座を1回開催した。					
課題及び 今後の 取り組み	市内文化財の調査を行い文化財指定を進める。 発掘調査による出土資料や民俗資料の整理活用を図る。 民具倉庫の一部が老朽化しており、北部倉庫への収蔵集約を検討中。 新居関跡保存整備は、史跡整備財源の確保と建物（船会所・土蔵等）の復元等の年次計画の検討が必要である。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	★☆☆ B A 重要度→ ☆H30 ★H29	

事業名		白須賀歴史拠点施設管理運営費			資料編	32頁
目 標	生活の中で歴史に触れる活動	方 針	1 歴史の保存と継承に努めます 3 安全で安心な施設の管理運営に努めます			
概 要	白須賀宿や歴史と文化を広めるとともに、資料の保存と活用を図るため、白須賀宿歴史拠点施設の運営管理と各種事業を行う。					
30年度 目 標	再発見事業などの展開により、年間入館者数6,500人をめざす。					
30年度 実 績 等	◇白須賀宿歴史拠点施設管理運営：入場者数 4,456人 ◇白須賀宿再発見事業：参加者0人（雨天中止）					
29年度 実 績 等	◇白須賀宿歴史拠点施設管理運営：入場者数 5,489人 ◇白須賀宿再発見事業：参加者183人					
課題及び 今後の 取り組み	開館から19年が経過しており、展示内容の見直しを行う必要がある。 愛LOVEワーク in 白須賀の参加者増に向けて、対応策について検討する。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	★☆☆ B A 重要度→ ☆H30 ★H29	
事業名		新居関所史料館管理運営費			資料編	32頁
目 標	生活の中で歴史に触れる活動	方 針	1 歴史の保存と継承に努めます 3 安全で安心な施設の管理運営に努めます			
概 要	国特別史跡新居関跡の保存に努めるとともに、新居関所に関する歴史資料の保存と活用を図るため、新居関所史料館の運営管理と各種事業を行う。					
30年度 目 標	保存整備事業の成果を利用して、入場者数37,000人をめざす。					
30年度 実 績 等	◇新居関所史料館管理：入館者数 22,773人 ◇新居関所史料館運営委員会：平成31年2月26日開催 ◇展示活動：企画展5回 ◇新居宿史跡案内人の会補助事業					
29年度 実 績 等	◇新居関所史料館管理：入館者数 26,214人 ◇新居関所史料館運営委員会：平成30年3月22日開催 ◇展示活動：企画展3回、小企画展3回、まち歩きイベント1回 ◇新居宿史跡案内人の会補助事業					
課題及び 今後の 取り組み	関所整備に合わせたイベントの実施や魅力ある企画展示の開催などによって親しみやすい運営に努め、入館者の増加につなげる。また白須賀宿やおんやど白須賀などと連携したPRに努める。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	★☆☆ B A 重要度→ ☆H30 ★H29	
事業名		紀伊国屋資料館管理運営費			資料編	32頁
目 標	生活の中で歴史に触れる活動	方 針	1 歴史の保存と継承に努めます 3 安全で安心な施設の管理運営に努めます			
概 要	市指定の旅籠紀伊国屋の保存に努めるとともに、江戸時代の旅籠に関する歴史資料の保存と活用を図るため、紀伊国屋資料館の管理と運営を行う。					
30年度 目 標	新居関所史料館との連携で入館者数17,400人をめざす。					
30年度 実 績 等	◇紀伊国屋資料館管理運営事業：入館者数 12,444人 ◇展示活動：おひなさま展					
29年度 実 績 等	◇紀伊国屋資料館管理運営事業：入館者数 13,087人 ◇展示活動：おひなさま展・昭和の着物展					
課題及び 今後の 取り組み	市指定有形文化財としての保存に努めるとともに、地域イベントなどにも協力し活用を図る。 新居関所や小松楼まちづくり交流館と連携した事業を展開する。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	★☆☆ B A 重要度→ ☆H30 ★H29	

事業名		小松楼まちづくり交流館管理運営費			資料編	33頁
目 標	生活の中で歴史に触れる活動	方 針	1 歴史の保存と継承に努めます 3 安全で安心な施設の管理運営に努めます			
概 要	国登録文化財の小松楼の保存に努めるとともに、地域振興並びに新居関所周辺の観光振興及び文化振興を図るため、小松楼まちづくり交流館の管理と運営を行う。					
30年度 目 標	周辺施設や地域団体と連携して、入館者数16,000人を目指す。					
30年度 実 績 等	◇小松楼まちづくり交流館管理運営事業：入館者数 14,369人 ◇活動：地域の茶の間、遊楽舎講座、ギャラリー展示開催					
29年度 実 績 等	◇小松楼まちづくり交流館管理運営事業：入館者数 14,212人 ◇活動：地域の茶の間、遊楽舎講座、ギャラリー展示開催					
課題及び 今後の 取り組み	国登録文化財の保存に努めるとともに、関所史料館・紀伊国屋資料館・町並み等との連携や活用について課題はあるが、歴史的資産を生かした地域振興と市民協働による地域イベントなどの取り組みとしてある程度の成果を挙げている。	評 価	↑ 実 現 度	A		
				B	★☆	
				C	B	A
				重要度→ ☆H30 ★H29		
事業名		保健体育総務関係経費（社会体育振興事業）			資料編	36頁
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります			
概 要	スポーツ推進委員会を中心として各種スポーツ活動の企画・運営を行い、スポーツの普及を図る。					
30年度 目 標	ニュースポーツ参加人数 1,500人					
30年度 実 績 等	◇ニュースポーツ参加人数 1,279人					
29年度 実 績 等	◇ニュースポーツ参加人数 1,430人					
課題及び 今後の 取り組み	ニュースポーツ講習会等の参加者が固定化傾向で、新しい参加者が少なくなっている。 市民のニーズに沿った各種スポーツ活動についてスポーツ推進委員で企画検討し、スポーツ活動の充実に努める。	評 価	↑ 実 現 度	A		
				B	★☆	
				C	B	A
				重要度→ ☆H30 ★H29		
事業名		保健体育総務関係経費（健康づくり事業）			資料編	36頁
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります			
概 要	スポーツの推進に関する施策の基本を明らかにし、市民の心身の健全な発達と明るい市民生活の形成に寄与することを目的に、湖西市の実情に即した推進計画を策定する。					
30年度 目 標	健康づくり事業として、白須賀ウォーキングコースの設定及び予算付けを行う。					
30年度 実 績 等	◇白須賀ウォーキングコースに関し、予算付けすることができなかった。					
29年度 実 績 等	◇白須賀ウォーキングコースの検討と、今後の方向性を協議した。					
課題及び 今後の 取り組み	健康づくり事業の一環として、手軽にできる運動がしやすい環境づくりに努める。	評 価	↑ 実 現 度	A	★	
				B		
				C	☆	A
				重要度→ ☆H30 ★H29		

事業名		社会体育施設維持管理費（湖西運動公園外5施設維持管理）		資料編	37頁																								
目 標		誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	3 社会体育施設の維持管理及び運営に努めます																									
概 要		湖西運動公園・梶田多目的運動広場・北部地区運動広場・みなと運動公園・新居スポーツ広場公園・勤労者体育センターの利用者が快適かつ安全に競技ができるよう指定管理者による施設の維持管理を行う。																											
30年度 目 標		湖西運動公園外5施設年間利用目標：195,000人																											
実績等	<table><tr><td>湖西運動公園等</td><td>29年度年間利用者数</td><td>30年度年間利用者数</td></tr><tr><td>湖西運動公園</td><td>46,750人</td><td>51,603人</td></tr><tr><td>梶田多目的運動広場</td><td>3,332人</td><td>3,503人</td></tr><tr><td>北部地区運動広場</td><td>12,380人</td><td>13,485人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>62,462人</td><td>68,591人</td></tr></table>					湖西運動公園等	29年度年間利用者数	30年度年間利用者数	湖西運動公園	46,750人	51,603人	梶田多目的運動広場	3,332人	3,503人	北部地区運動広場	12,380人	13,485人	合 計	62,462人	68,591人									
	湖西運動公園等	29年度年間利用者数	30年度年間利用者数																										
	湖西運動公園	46,750人	51,603人																										
	梶田多目的運動広場	3,332人	3,503人																										
	北部地区運動広場	12,380人	13,485人																										
	合 計	62,462人	68,591人																										
	<table><tr><td>みなと運動公園</td><td>29年度年間利用者数</td><td>30年度年間利用者数</td></tr><tr><td>野球場</td><td>4,425人</td><td>4,370人</td></tr><tr><td>多目的広場</td><td>10,191人</td><td>9,926人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>14,616人</td><td>14,296人</td></tr></table>					みなと運動公園	29年度年間利用者数	30年度年間利用者数	野球場	4,425人	4,370人	多目的広場	10,191人	9,926人	合 計	14,616人	14,296人												
	みなと運動公園	29年度年間利用者数	30年度年間利用者数																										
	野球場	4,425人	4,370人																										
	多目的広場	10,191人	9,926人																										
	合 計	14,616人	14,296人																										
	<table><tr><td>新居スポーツ広場公園</td><td>29年度年間利用者数</td><td>30年度年間利用者数</td></tr><tr><td>体育館</td><td>71,789人</td><td>76,354人</td></tr><tr><td>庭球場</td><td>4,608人</td><td>3,765人</td></tr><tr><td>弓道場</td><td>3,125人</td><td>2,798人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>79,522人</td><td>82,917人</td></tr></table>					新居スポーツ広場公園	29年度年間利用者数	30年度年間利用者数	体育館	71,789人	76,354人	庭球場	4,608人	3,765人	弓道場	3,125人	2,798人	合 計	79,522人	82,917人									
	新居スポーツ広場公園	29年度年間利用者数	30年度年間利用者数																										
	体育館	71,789人	76,354人																										
	庭球場	4,608人	3,765人																										
	弓道場	3,125人	2,798人																										
	合 計	79,522人	82,917人																										
	<table><tr><td>勤労者体育センター</td><td>29年度年間利用者数</td><td>30年度年間利用者数</td></tr><tr><td>体育室</td><td>31,315人</td><td>33,298人</td></tr><tr><td>軽運動室</td><td>5,348人</td><td>5,167人</td></tr><tr><td>トレーニング室</td><td>3,240人</td><td>3,009人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>39,903人</td><td>41,474人</td></tr></table>					勤労者体育センター	29年度年間利用者数	30年度年間利用者数	体育室	31,315人	33,298人	軽運動室	5,348人	5,167人	トレーニング室	3,240人	3,009人	合 計	39,903人	41,474人									
	勤労者体育センター	29年度年間利用者数	30年度年間利用者数																										
体育室	31,315人	33,298人																											
軽運動室	5,348人	5,167人																											
トレーニング室	3,240人	3,009人																											
合 計	39,903人	41,474人																											
課題及び 今後の 取り組み	指定管理者の運営努力により利用者は伸びているが、施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要。			評価	<table><tr><td>↑</td><td>A</td><td></td><td>★★</td></tr><tr><td>実</td><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>現</td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td>度</td><td colspan="3">重要度→</td></tr><tr><td></td><td colspan="3">☆H30 ★H29</td></tr></table>	↑	A		★★	実	B			現	C	B	A	度	重要度→				☆H30 ★H29						
↑	A		★★																										
実	B																												
現	C	B	A																										
度	重要度→																												
	☆H30 ★H29																												
事業名		社会体育施設維持管理費（複合運動施設管理運営）		資料編	38頁																								
目 標		誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	3 社会体育施設の維持管理及び運営に努めます																									
概 要		アメニティプラザの利用者が、快適かつ安全に競技できるよう指定管理者による施設管理を行う。																											
30年度 目 標		アメニティプラザ年間利用者目標：320,000人																											
実績等	<table><tr><td>施 設 名</td><td>29年度年間利用者数</td><td>30年度年間利用者数</td></tr><tr><td>温水レジャープール</td><td>120,021人</td><td>114,600人</td></tr><tr><td>浴室</td><td>80,867人</td><td>81,739人</td></tr><tr><td>トレーニングルーム</td><td>28,856人</td><td>28,159人</td></tr><tr><td>メインアリーナ</td><td>44,927人</td><td>37,793人</td></tr><tr><td>サブアリーナ</td><td>21,733人</td><td>19,549人</td></tr><tr><td>スタジオ</td><td>15,953人</td><td>16,592人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>312,357人</td><td>298,432人</td></tr></table>					施 設 名	29年度年間利用者数	30年度年間利用者数	温水レジャープール	120,021人	114,600人	浴室	80,867人	81,739人	トレーニングルーム	28,856人	28,159人	メインアリーナ	44,927人	37,793人	サブアリーナ	21,733人	19,549人	スタジオ	15,953人	16,592人	合 計	312,357人	298,432人
	施 設 名	29年度年間利用者数	30年度年間利用者数																										
	温水レジャープール	120,021人	114,600人																										
	浴室	80,867人	81,739人																										
	トレーニングルーム	28,856人	28,159人																										
	メインアリーナ	44,927人	37,793人																										
	サブアリーナ	21,733人	19,549人																										
	スタジオ	15,953人	16,592人																										
合 計	312,357人	298,432人																											
課題及び 今後の 取り組み	指定管理者の運営努力により利用者の満足度は高いが、施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要。			評価	<table><tr><td>↑</td><td>A</td><td></td><td>★★</td></tr><tr><td>実</td><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>現</td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td>度</td><td colspan="3">重要度→</td></tr><tr><td></td><td colspan="3">☆H30 ★H29</td></tr></table>	↑	A		★★	実	B			現	C	B	A	度	重要度→				☆H30 ★H29						
↑	A		★★																										
実	B																												
現	C	B	A																										
度	重要度→																												
	☆H30 ★H29																												

事業名		スポーツ活動推進及び大会運営費（スポーツ普及推進及び育成事業）		資料編	39頁																
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進		方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります																	
概 要	市民のスポーツ活動を推進し、競技力の向上と健康増進を図るため、スポーツ大会やスポーツ教室の開催など各種事業を行う。																				
30年度 目 標	スポーツ教室及びスポーツ大会参加者目標：8,000人																				
30年度 実 績 等	◇スポーツ教室 ニュースポーツ講習会等、10教室、2講習会 延 142回 総参加者数 2,934人 ◇各種スポーツ大会 陸上競技、野球、卓球等 18大会 総参加者数 4,111人 ◇スポーツ少年団派遣事業 4競技 派遣回数7回																				
29年度 実 績 等	◇スポーツ教室 ニュースポーツ講習会等、10教室、2講習会 延 142回 総参加者数 3,394人 ◇各種スポーツ大会 陸上競技、野球、卓球等 17大会 総参加者数 4,101人 ◇スポーツ少年団派遣事業 8競技 派遣回数25回																				
課題及び 今後の 取り組み	参加者アンケート、他市の実施状況等を参考に、ニーズにあった種目、大会を実施する。 新規教室の発掘が課題となる。			評価	<table><tr><td>↑ 実 現 度</td><td>A</td><td>★</td><td></td></tr><tr><td></td><td>B</td><td>☆</td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">重要度→ ☆H30 ★H29</td></tr></table>	↑ 実 現 度	A	★			B	☆			C	B	A	重要度→ ☆H30 ★H29			
↑ 実 現 度	A	★																			
	B	☆																			
	C	B	A																		
重要度→ ☆H30 ★H29																					
事業名		スポーツ活動推進及び大会運営費（ジュニアスポーツ育成事業）		資料編	39頁																
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進		方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります																	
概 要	中学生の競技力向上のため、ジュニアスポーツクラブを育成する。																				
30年度 目 標	生徒参加者目標：150人																				
30年度 実 績 等	◇実施種目 野球、サッカー、ソフトテニス、柔道、陸上長距離 参加者数 151人																				
29年度 実 績 等	◇実施種目 野球、サッカー、ソフトテニス、柔道、陸上長距離 参加者数 121人																				
課題及び 今後の 取り組み	学校の部活動と連絡・調整を行い、今後も活動を継続する。 2020年度、ソフトボールを新種目として募集に追加する。 他の新種目の指導者の発掘が課題。			評価	<table><tr><td>↑ 実 現 度</td><td>A</td><td>☆</td><td></td></tr><tr><td></td><td>B</td><td>★</td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">重要度→ ☆H30 ★H29</td></tr></table>	↑ 実 現 度	A	☆			B	★			C	B	A	重要度→ ☆H30 ★H29			
↑ 実 現 度	A	☆																			
	B	★																			
	C	B	A																		
重要度→ ☆H30 ★H29																					
事業名		スポーツ活動推進及び大会運営費（高齢者の健康生きがいづくり事業）		資料編	39頁																
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進		方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります																	
概 要	高齢者の方々が心と体を健康に保つために、スポーツに親しむ場を提供する。																				
30年度 目 標	大会参加者目標：1,850人																				
30年度 実 績 等	◇スポーツ大会開催種目 ペタンク、ラージボール、ペタボード、グランドゴルフ、輪投げ 大会回数 年9回 総参加者数 1,863人																				
29年度 実 績 等	◇スポーツ大会開催種目 ペタンク、ラージボール、ペタボード、グランドゴルフ、輪投げ 大会回数 年10回 総参加者数 1,896人																				
課題及び 今後の 取り組み	さらなる参加者数の拡大が課題。また、天候に左右されやすい種目は開催時期の変更もしくは回数を減らすことも必要。			評価	<table><tr><td>↑ 実 現 度</td><td>A</td><td>★★</td><td></td></tr><tr><td></td><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">重要度→ ☆H30 ★H29</td></tr></table>	↑ 実 現 度	A	★★			B				C	B	A	重要度→ ☆H30 ★H29			
↑ 実 現 度	A	★★																			
	B																				
	C	B	A																		
重要度→ ☆H30 ★H29																					

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（学校体育施設開放事業）			資料編	40頁
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	2 社会体育施設の維持管理及び運営に努めます		
概 要	市内小中学校体育施設を開放することにより、市民がスポーツを通じて交流する場を提供する。				
30年度 目 標	学校体育施設利用者目標：101,000人				
実 績 等	施 設 名	29年度		30年度	
		延利用回数	延利用者数	延利用回数	延利用者数
	小・中学校運動場	665回	19,653人	670回	28,269人
	小・中学校体育館	2,367回	56,170人	2,089回	53,725人
	小・中学校武道場	803回	17,724人	905回	16,505人
	小・中学校クラブハウス	135回	622人	206回	1,028人
	新居幼稚園遊戯室	40回	1,744人	26回	1,056人
	合 計	4,010回	95,913人	3,896回	100,583人
課題及び 今後の 取り組み	固定的な利用が多いため、新規参加が難しい。 利用者の拡大が課題。			評 価	↑ 実 現 度 A B C ★☆☆ 重要度→ ☆H30 ★H29
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（静岡県市町対抗駅伝競走大会）			資料編	41頁
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります		
概 要	市町対抗駅伝に出場し、競技力の向上を図る。				
30年度 目 標	市の部10位以内入賞をめざす。				
30年度 実 績 等	◇開催日	12月1日（土）			
	◇成績	市の部 10位			
29年度 実 績 等	◇開催日	12月2日（土）			
	◇成績	市の部 8位			
課題及び 今後の 取り組み	優秀な競技者の発掘、競技力の向上に努力する。 小中学生の走力向上に取り組み、近い将来に3位入賞を実現する。			評 価	↑ 実 現 度 A B C ★☆☆ 重要度→ ☆H30 ★H29
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（湖西市駅伝大会）			資料編	41頁
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります		
概 要	駅伝大会を開催し、競技力の向上を図る。また、ふれあいジョギングを併せて開催し日頃のスポーツ不足を解消し市民のふれあいを深める。				
30年度 目 標	大会参加チーム目標：90チーム				
30年度 実 績 等	◇開催日	1月20日（日）			
	◇参加申込数	99チーム 891人 ふれあいジョギング 89人			
29年度 実 績 等	◇開催日	1月21日（日）			
	◇参加申込数	72チーム 648人 ふれあいジョギング 102人			
課題及び 今後の 取り組み	一般道路を使つての競技になるので、渋滞等の苦情が多いこと、また、事故が起きないように運営することが課題。 合併時にコースが変更され、北部地区が走路から外れたが、市全域を走路にすることは困難。			評 価	↑ 実 現 度 A B C ☆ ★ 重要度→ ☆H30 ★H29

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（室内棒高跳記録会）					資料編	41頁									
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進			方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります											
概 要	近隣の中高生・一般選手の棒高跳競技の強化を目的とし、自己記録及び新記録樹立をめざす場を提供する。															
30年度 目 標	記録会参加者目標：80人															
実 績 等	区 分	29年度			30年度 記録会											
		開催日	参加者数	来館者	対象者	開催日	参加者数									
		大 会	2月24日（土）	中止	小中学生	2月16日（土）	38人									
		記録会	2月25日（日）		高校生・一般	2月17日（日）	46人									
					計	84人										
※29年度は競技運営が困難となり開催中止とした。																
課題及び 今 後 の 取 り 組 み	今後も静岡西部陸上競技協会が主催者となった記録会を継続する。 また、棒高跳選手を有する大学や企業・クラブチームなどの練習や合宿で施設・用具を活用してもらうようPRを図る。					評 価	↑ 実 現 度									
							<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td>★☆</td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆H30 ★H29	A			B	★☆		C	B	A
A																
B	★☆															
C	B	A														

〔図書館事業評価の概要〕

事業名		中央図書館管理運営費（中央図書館運営事業）			資料編		34頁				
目 標		学習活動環境の充実		方 針	1 情報拠点としての図書館運営の充実に努めます						
概 要		情報拠点としての図書館運営の充実を図るために、より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の充実と窓口の円滑なサービスを行う。									
30年度 目 標		入館者数 150,000人									
30年度 実績等		◇入館者数 140,218人 ◇図書購入状況 図書 4,843冊 雑誌 1,086冊 AV資料 93点 ◇登録者状況 20,305人 ◇図書貸出状況 280,435冊(一般 109,515 児童 135,820 雑誌 18,340 AV 16,760) ◇蔵書状況 175,865冊(一般 110,209 児童 56,521 雑誌 4,743 AV 3,392)									
29年度 実績等		◇入館者数 142,281人 ◇図書購入状況 図書 4,822冊 雑誌 1,113冊 AV資料 116点 ◇登録者状況 19,260人 ◇図書貸出状況 277,966冊(一般 110,311 児童 131,361 雑誌 18,562 AV 17,732) ◇蔵書状況 175,940冊(一般 110,333 児童 57,975 雑誌 4,330 AV 3,302)									
課題及び 今後の 取り組み		図書館にまた行きたくなるような事業展開を考える。また情報発信拠点として、特集コーナーを設けて様々な分野の資料を展示するなど、読書環境を整備する。書架の新鮮さを維持するために、開架書架より古い資料を抜き取る作業を継続して実施する。 多文化サービス拡大のため外国語資料を充実させる。 学校司書の配置による学校図書館運営のさらなる充実。				評価	↑ 実 現 度	A			☆☆
								C	B	A	重要度→ ☆H30 ★H29
事業名		中央図書館管理運営費（図書館施設維持管理事業）				資料編		34頁			
目 標		学習活動環境の充実		方 針	3 安全で快適な施設環境を整えるよう施設の維持管理に努めます						
概 要		快適な施設環境を整え、図書館の利用者に安全で快適な空間を提供することを目的に施設の維持管理を行う。									
30年度 目 標		管理運営上支障なく開館された日数 302日									
30年度 実績等		◇開館日数 302日 ◇空調設備、消防設備等保守点検業務等12業務を委託した。 ◇高圧気中開閉器修繕等を行った。									
29年度 実績等		◇開館日数 296日 ◇空調設備、消防設備等保守点検業務等12業務を委託した。 ◇一般開架及びロビー照明改修修繕を行った。									
課題及び 今後の 取り組み		施設の保守点検業務を実施して、市民が安全で快適な環境で図書館を利用してもらえるように努める。				評価	↑ 実 現 度	A		☆	★
								C	B	A	重要度→ ☆H30 ★H29
事業名		中央図書館管理運営費（図書館活動推進事業）				資料編		35頁			
目 標		学習活動環境の充実		方 針	2 図書館活動の推進に努めます						
概 要		図書館活動の推進を図るために、図書館ボランティアの自己啓発及び育成とともに、読書普及活動を行う。また、乳幼児期から本に親しんでもらうためブックスタート事業を推進する。									
30年度 目 標		イベント参加人数 4,000人									
30年度 実績等		◇夏の図書館まつり、よみん祭 906人 ◇チャレンジブックラリー 1,592人 ◇おはなし会 1,084人 ◇その他事業 649人 ◇ブックスタート事業 240人 参加者数合計 4,471人									
29年度 実績等		◇夏の図書館まつり、よみん祭 767人 ◇チャレンジブックラリー 1,348人 ◇おはなし会 865人 ◇その他事業 317人 ◇ブックスタート事業 228人 参加者数合計 3,525人									
課題及び 今後の 取り組み		ブックスタート事業に参加できなかった親へのアフターフォローを検討し、より多くの方に乳幼児期から本に親しんでもらえるよう、事業を推進する。 ボランティアの確保と育成を図る。 多文化サービス拡大のため、講演会・勉強会等のイベントを企画する。				評価	↑ 実 現 度	A			☆
								C	B	A	重要度→ ☆H30 ★H29

事業名		新居図書館管理運営費（図書館運営事業）			資料編	35頁									
目 標	学習活動環境の充実	方 針	1	情報拠点としての図書館運営の充実に努めます											
概 要	情報拠点としての図書館運営の充実を図るために、より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の充実と窓口の円滑なサービスを行う。														
30年度 目 標	入館者数 100,000人														
30年度 実 績 等	◇入館者数 96,389人 ◇図書購入状況 図書 1,807冊 雑誌 675冊 AV資料 77点 ◇図書貸出状況 130,304冊（一般 47,084 児童 66,450 雑誌 6,441 AV 10,329） ◇蔵書状況 107,421冊（一般 70,867 児童 30,881雑誌 3,516 AV 2,157）														
29年度 実 績 等	◇入館者数 95,419人 ◇図書購入状況 図書 1,933冊 雑誌 679冊 AV資料 93点 ◇図書貸出状況 130,541冊（一般 48,209 児童 65,838 雑誌 6,755 AV 9,739） ◇蔵書状況 107,242冊（一般 71,098 児童 30,670 雑誌 3,460 AV 2,014）														
課題及び 今後の 取り組み	大人が参加できるような講座を引き続き開催する。また情報発信拠点として、特集コーナーを設けて様々な分野の資料を展示するなど、読書環境を整備する。また書架の新鮮さを維持するために、開架書架より古い資料を抜き取る作業を継続して実施する。			評価	↑ 実 現 度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30 ★H29	A			B		★☆☆	C	B	A
A															
B		★☆☆													
C	B	A													
事業名		新居図書館管理運営費（図書館維持管理事業）			資料編	36頁									
目 標	学習活動環境の充実	方 針	3	安全で快適な施設環境を整えるよう施設の維持管理に努めます											
概 要	快適な施設環境を整え、図書館の利用者に安全で快適な空間を提供することを目的に施設の維持管理を行う。														
30年度 目 標	管理運営上支障なく開館された日数 302日														
30年度 実 績 等	◇開館日数 302日 ◇空調設備、消防設備等保守点検業務等10業務を委託した。 ◇開架室、ロビー及びトイレ照明改修修繕等を行った。														
29年度 実 績 等	◇開館日数 295日 ◇空調設備、消防設備等保守点検業務等10業務を委託した。 ◇南玄関通路修繕、書庫出入り口扉修繕等を行った。														
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化による維持管理費の増大。 施設の保守点検業務を実施して、市民が安全で快適な環境で図書館を利用してもらえるように努める			評価	↑ 実 現 度	<table><tr><td>A</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30 ★H29	A		★☆☆	B			C	B	A
A		★☆☆													
B															
C	B	A													
事業名		新居図書館管理運営費（図書館活動推進事業）			資料編	35頁									
目 標	学習活動環境の充実	方 針	2	図書館活動の推進に努めます											
概 要	図書館活動の推進を図るために、図書館ボランティアの自己啓発及び育成とともに、読書普及活動を行う。また、乳幼児期から本に親しんでもらうためブックスタート事業を推進する。														
30年度 目 標	イベント参加人数 2,600人														
30年度 実 績 等	◇夏のおはなし会、よみん祭 524人 ◇子どもスタンプラリー 1,243人 ◇お話し会 373人 ◇その他事業 340人 ◇ブックスタート 51人 参加者合計 2,531人														
29年度 実 績 等	◇夏のおはなし会、よみん祭 675人 ◇子どもスタンプラリー 1,232人 ◇お話し会 600人 ◇その他事業 257人 ◇ブックスタート 77人 参加者合計 2,841人														
課題及び 今後の 取り組み	ブックスタート事業に参加できなかった親へのアフターフォローを検討し、より多くの方に乳幼児期から本に親しんでもらえるよう、事業を推進する。 ボランティアの確保と育成を図る。 イベントへの参加者が増えない。			評価	↑ 実 現 度	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★☆☆</td></tr><tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> 重要度→ ☆☆H30 ★H29	A			B		★☆☆	C	B	A
A															
B		★☆☆													
C	B	A													

Ⅲ 外部評価委員（学識経験者）の意見

湖西市教育委員会の自己点検・評価に対する学識経験者による知見の活用は、教育に関し学識経験を有する下記の方の5名の方に依頼した。

外部評価委員の方々のお名前及び主な御意見、御助言は、次のとおりである。

外部評価委員名簿

(50音順 敬称略)

氏 名	所 属 等
井 川 あ い 子	学校評議員代表
大 林 裕 子	教育委員経験者
片 山 ひ と み	図書館運営協議会
佐 原 啓 之	小中学校PTA連絡協議会
吉 山 学	学校長経験者

外部評価委員会実施日

- ・ 令和元年11月12日（火）
- ・ 令和元年11月29日（金）

〈自己点検・評価報告書全体〉

○自己点検・評価報告書と資料編は、「明日の湖西を創る“ひと”づくり」に向けて目標・方針、重要度などわかりやすくまとめられており、事業概要と評価が理解しやすい。

○厳しい財政事情の中、各課とも教育行政の課題解決と目標達成に向けて努力し着実に取り組んでいることは評価できる。

○教育振興基本計画、スポーツ推進計画、生涯学習推進計画は、2020年度に最終年度を迎える。毎年度実施している自己点検・評価や外部評価をもとに総合評価を行い、次期の計画に生かしていただきたい。

○学校の臨時講師、特別支援員、保育士など人手不足が深刻な問題である。潜在する保育士・教職員の発掘や再任用教職員の活用のほか、働き方の見直し等の様々な対策を立て人員の確保に努めていただきたい。

○学校・教育施設の老朽化や各地で台風など自然災害が発生している現状を踏まえ、安全で安心な施設づくりに取り組んでいただきたい。施設の維持管理には多くの予算が必要であるが、児童生徒の安全安心を最優先に取組を進めてほしい。

〈P 9 教育委員会関係経費〉

- 教育委員会に関する議事録等がウェブサイトで丁寧に公開されており、今後もわかりやすく開かれた教育委員会を心がけていただきたい。
- 総合教育会議では、教育委員会と市長との連携を深め、教育の課題など情報の共有を図り事業に取り組んでいただきたい。

〈P 10 育英奨学資金貸付事業費〉

- 育英奨学資金貸付事業は、学びたい子どもが安心して学校生活がおくられるよう、必要な方への奨学金制度の周知と支援の充実に取り組まれたい。

〈P 12・13 一般諸経費（小学校・中学校）〉

- 中学校部活動費交付金について、全国大会などの開催地によって自己負担に差が生じることから、保護者の経済的負担を軽減するため負担制限を設けるなど検討願いたい。

〈P 12・14 教育扶助費（小学校・中学校）〉

- 平成30年度就学助成制度を見直し、新入学用品費の入学前支給を実施したことは評価できる。今後も支援が必要な児童生徒に対して、必要な時期に適切な支援ができるように取り組まれたい。

〈P 16 教育指導関係事業， P 20 幼稚園教育指導関係経費〉

- 教育指導関係事業は、様々なハンディや悩みを抱える児童生徒にきめ細かく対応され心強く、評価できる。幼稚園から中学まで引き継がれ指導に積み上げられるよう努めていただきたい。

- 幼稚園・小中学校の安定運営を図るためにも特別支援教育支援員・通訳員等の充実と増員に努められたい。

- SNS犯罪が増加している中で、今後は児童生徒のSNSの使用について指針を設けるなど検討願いたい。

- 不登校児童対策については、継続して不登校児童生徒への相談や適切な支援体制の充実に努め、将来の自立への支援へ繋げていただきたい。

〈資料編 P 12 教職員育成事業費〉

- 湖西市教職員研修計画を策定し研修に取り組んでいるが、教育の質は教職員の質によるところが大きく、今後も教職員の資質向上のため重点施策に位置づけ推進していただきたい。

○市内小中学校の教職員の人事交流は限られているため、他地区の教育をよく理解し客観的に本市の教育を指導できる講師を招聘し指導いただくなど積極的な人事交流をしていただきたい。

<P17 学校保健衛生費>

○平成30年度の検討により令和元年度から耳鼻科健診が実施されることは、専門医による健診と適切な早期治療につながるものと評価できる。

<P18 小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業>

○地域と学校の連携など各校とも特色のある学校づくり事業が進められており評価できる。今後の継続と充実に取り組んでいただきたい。

<P20 幼稚園一時預かり事業>

○幼稚園一時預かり事業は子育て中の保護者を支援するもので、ますます利用者増加が想定されるので、今後の継続と充実に取り組んでいただきたい。

<P22 社会教育総務関係経費>

○家庭教育にかかわる各課と関係機関との情報交換の場を設けることで課題や事業展開へのヒントが得られるのではないかと考える。

<P22 生涯学習推進費>

○達人録登録者を活用した講座を企画・実施することは良い取り組みであり市民ニーズに合った魅力ある講座の開設と講座の参加者増を期待する。

<P24 青少年健全育成センター活動費>

○ヤングダイヤル電話相談活動は、悩みを相談できる機関があることは当事者にとって心強く、継続と充実に取り組んでいただきたい。

<P24 北部多目的研修施設・南部地区構造改善センター管理運営費>

○地域の方々が集うまつりの参加者が増加しているのは評価できる。一方で利用者が減少しており、生涯学習推進のため効果的な講座の検討や市民へのPRに取り組んでいただきたい。

〈P25 文化財保護保存費〉

○湖西の歴史や伝統を知ることが湖西の人づくりにとって大切な視点の一つである。「ふるさと学習室」を常時開放できる場所を探していただきたい。

○関所跡保存整備や女改之長屋復元整備が進められ、今後の事業継続と広く市内外にPRし多くの人に訪れていただくことを期待する。

〈P28 社会体育施設維持管理費〉

○施設利用者が増えており評価する。老朽化による維持管理費が増大しているが、多くの市民が利用することから安全で安心して過ごせる場となるよう取り組んでいただきたい。

〈P29 スポーツ活動推進及び大会運営（高齢者の健康いきがづくり事業）〉

○高齢者の健康保持、体力増進のため、今後も高齢者スポーツ活動の推進に取り組んでいただきたい。

〈P32 中央図書館管理運営費（図書館活動推進事業）〉

○ボランティアも含め努力の結果、イベント参加人数が大幅に増加したことは大きな成果であり高く評価する。ブックスタート事業は乳幼児期から本に親しませる大切な事業であり継続と充実を望む。

○読書離れが進んでいる中で、貸出冊数が増えていることは評価できる。一方で本との出会いは時に人の人生を左右することもあり、数字にとらわれない、きめ細かなサービスも継続して取り組んでいただきたい。

Ⅳ 総合評価

自己点検・評価報告書は、湖西市教育振興基本計画とのかかわりを示す記載方法等について、関連計画との整合状況がわかりやすくまとめられており、事業概要と評価が見やすく理解しやすかったという御意見をいただきました。

教育委員会の各事業においては、点検・評価を含めて計画どおり適正に実施されていると確認していただきました。また、「厳しい財政事情の中、教育行政の課題解決に向けて着実に取り組む姿勢」等を評価していただき、さらなる充実と推進のための多くの御意見、御助言をいただきました。

今後も評価で得られた外部の知見とともに、この点検・評価を生かし湖西市教育振興基本計画の基本理念である「明日の湖西を創る“ひと”づくり」にまい進してまいりたいと考えています。また、評価結果を公表することで、教育委員会に関する積極的な情報公開や教育委員会事務に対する説明責任を果たすことに努めてまいりたいと思います。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、平成30年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を報告するものである。

令和元年12月

湖西市教育委員会 教育長 渡辺 宜宏